

第4次嵐山町男女共同参画プラン策定に伴う

アンケート結果概要

令和 3 年 9 月

嵐 山 町

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1.調査の目的	
2.調査の対象	
3.調査方法と回収状況	
4.調査の内容	
5.報告書の見方	
第 2 章 回答者のプロフィール	2
1.性別	
2.年齢	
3.職業	
4.婚姻の状況	
5.子どもの有無	
6.一番下の子どもの年齢	
第 3 章 調査の結果	6
1.「“らんざん”男女が共にいきいきと暮らせるまちづくり条例」の認知度について	6
問 1 「“らんざん”男女が共にいきいきと暮らせるまちづく条例」を知っていますか	
2.男女平等に関する意識について	7
問 2 男女の地位は平等になっていると思いますか	
問 3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	
問 3-1 賛成・どちらかといえば賛成の理由	
問 3-2 反対・どちらかといえば反対の理由	
問 4 メディアでの性の表現について	

3.家庭生活・子育てについて……………	16
問 5 家庭生活での役割分担について	
問 6 生活の中で優先したいこと・優先していることについて【理想・現実】	
4.就業・仕事について……………	22
問 7 女性の働き方についてどう考えていますか【理想・現実】	
問 8 女性が働き続けるためにどんなことが重要だと思いますか	
問 9 仕事と家庭の両立するためにどんなことが必要だと思いますか	
5.配偶者等に対する暴力について……………	28
問 10 DV(ドメスティックバイオレンス)を知っていますか	
問 11 配偶者・パートナーからの被害経験・加害経験について	
問 11-1 暴力に対する相談について	
問 11-2 相談した人(場所)について	
問 11-3 相談しなかった理由について	
6.男女共同参画を推進するための取組について……………	36
問 12 地方自治体などの施策への女性の意見や考え方の反映度について	
問 12-1 女性の意見や考え方が反映されない理由について	
問 13 今後、町が男女共同参画社会の実現を目指すため取組むべきこと	
7.新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす影響について……………	39
問 14 新型コロナウイルス感染拡大による仕事や家庭生活の変化	
第 4 章 自由意見……………	41
資 料 調査票……………	50

第1章 調査の概要

1.調査の目的

本調査は、第4次嵐山町男女共同参画プランを策定するため、町民の男女共同参画についての意識と生活実態について把握し、今後の施策を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

2.調査の対象

町内在住の18歳以上 1,000 人

3.調査方法と回収状況

調査方法 郵送によるアンケート調査

抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出

調査期間 令和3年8月2日(月)～8月31日(火)

回収状況 回収数:511件 回収率:51%

4.調査の内容

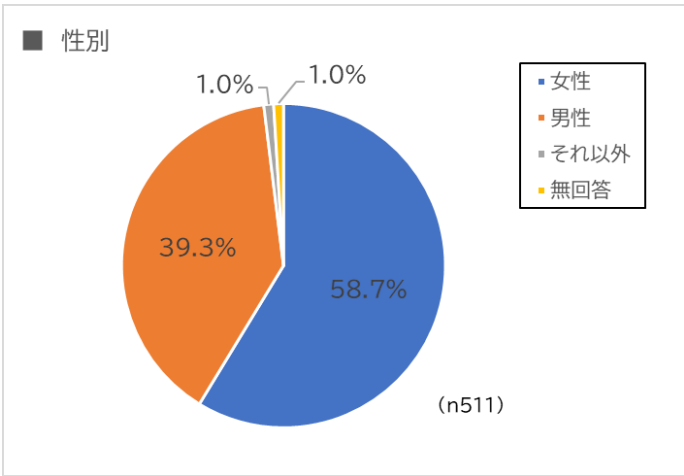
調査項目	
1.町条例の認知度について	5.配偶者等に対する暴力について
2.男女平等に関する意識について	6.男女共同参画を推進するための取組について
3.家庭生活・子育てについて	7.新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす影響について
4.就業・仕事について	

5.報告書の見方

- (1)回収の比率は、その質問項目に該当する回答者の数を100%として計算した比率です。(グラフ中回答者の数を「n」と表示しています。)
- (2)計算の都合上、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計が100%にならないことがあります。
- (3)複数回答(2 つ以上選んでよい問)においては、合計が100%を超えることがあります。
- (4)グラフや表のタイトルなどは表示の都合上、簡略化している場合があります。
- (5)性別の「それ以外」は全体には含まれますが、性別ごとの回答には掲載していません。

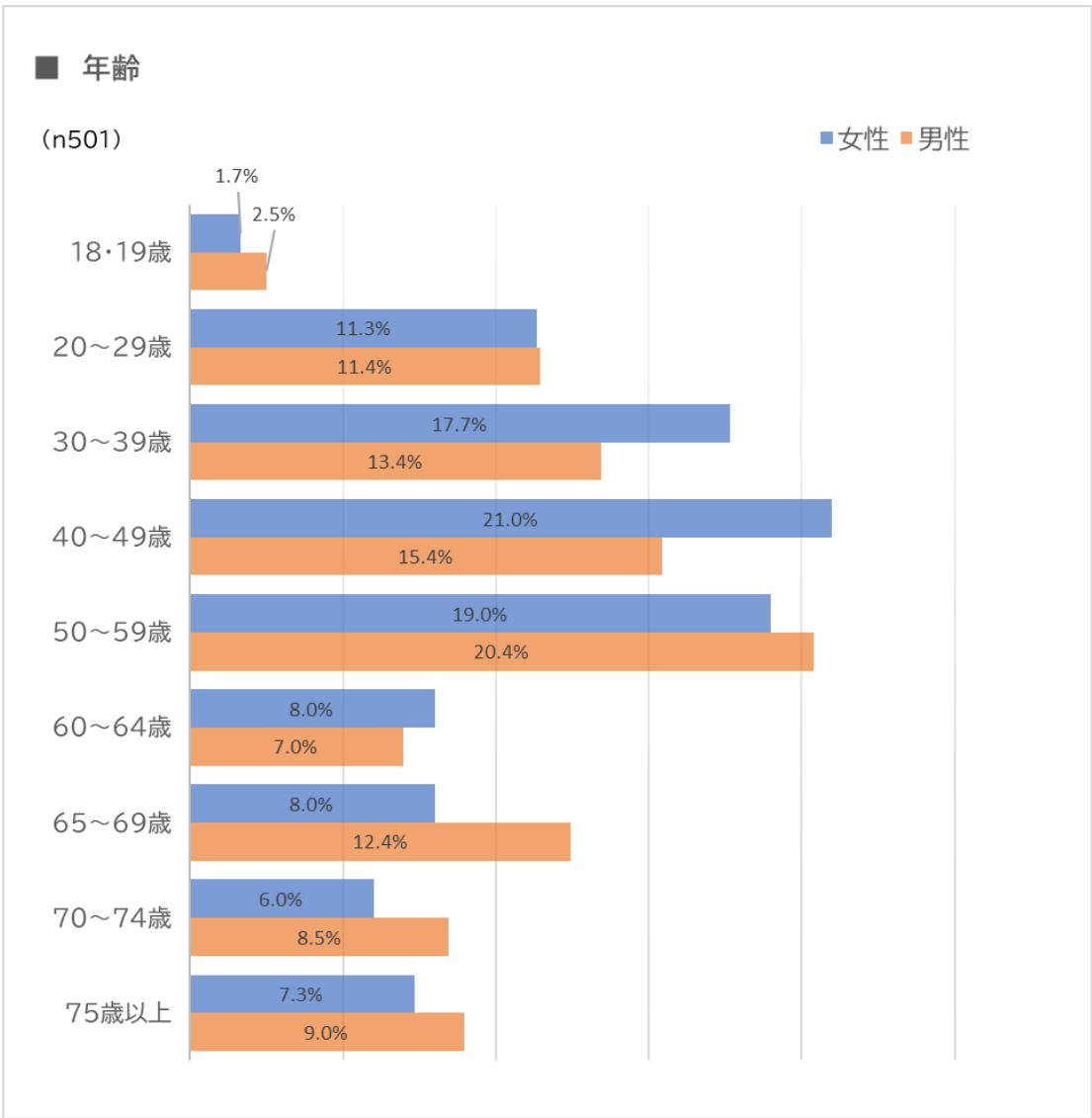
第2章 回答者のプロフィール

1.性 別



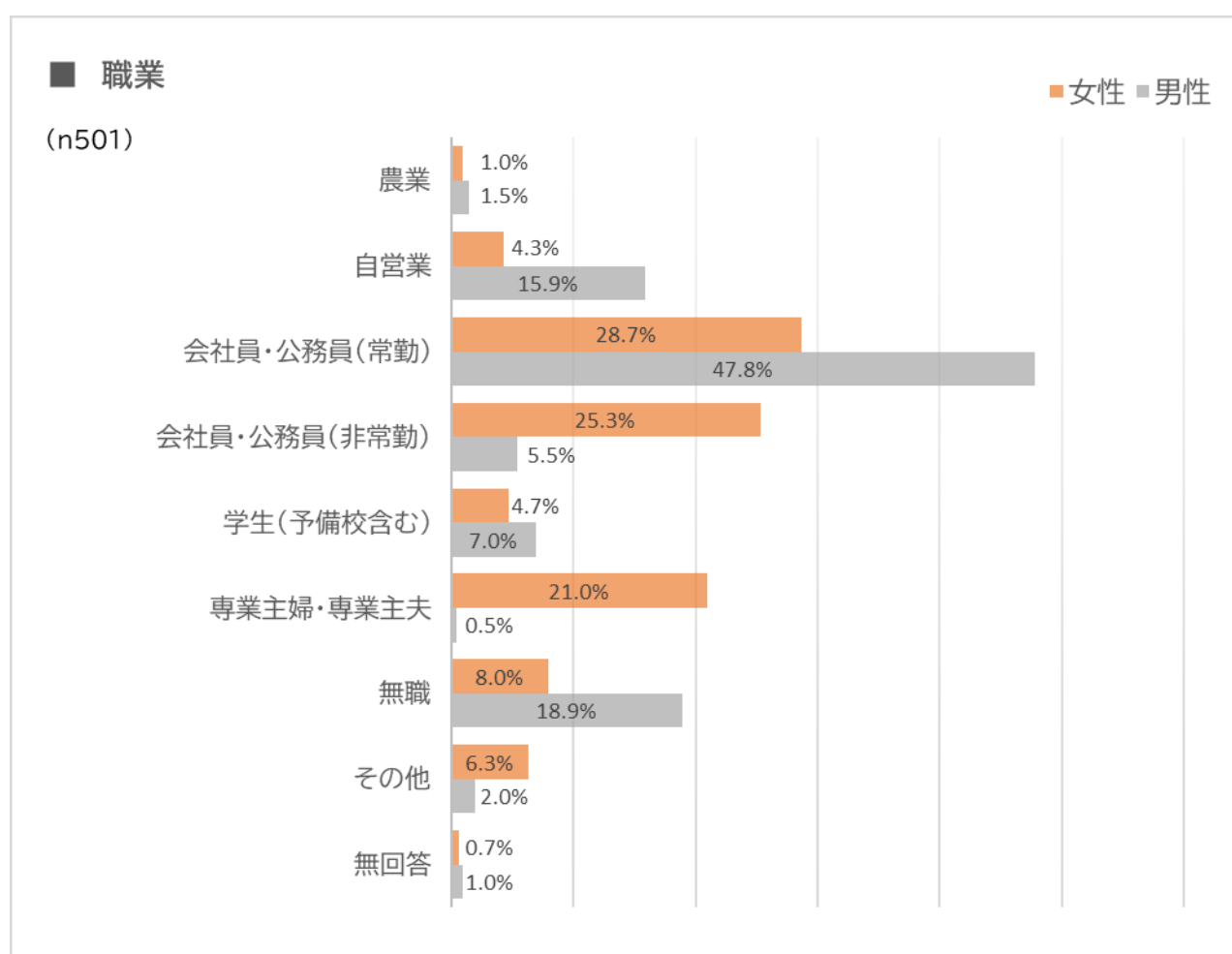
	回答数	構成比
女性	300	58.7%
男性	201	39.3%
それ以外	5	1.0%
無回答	5	1.0%
計	511	100.0%

2.年 齢



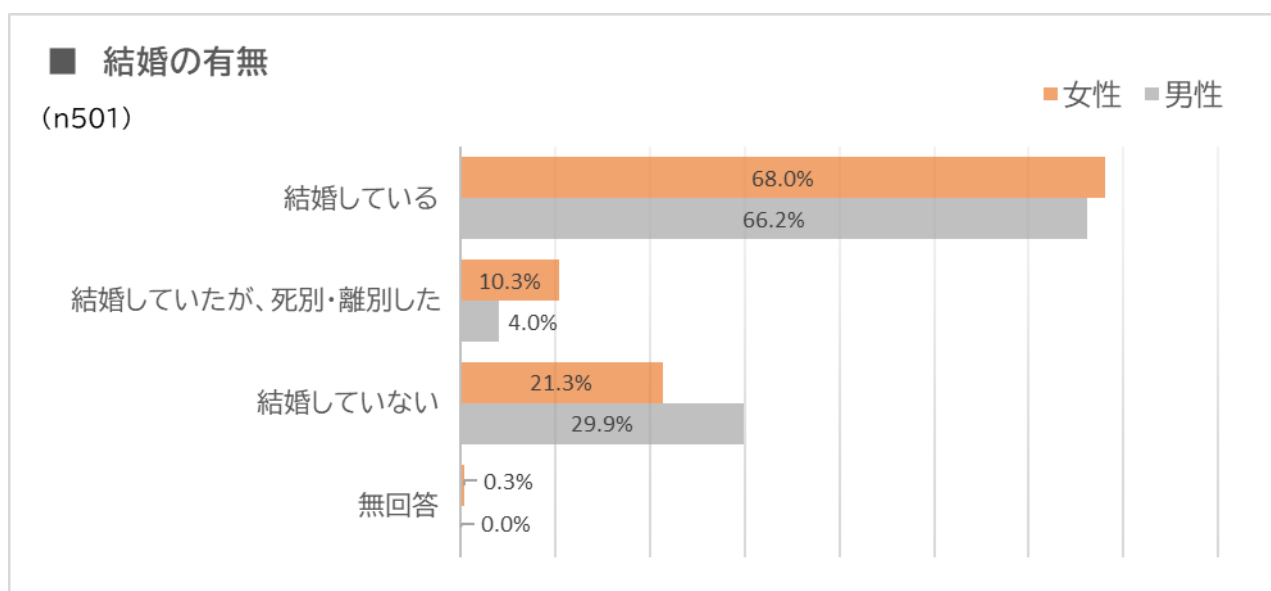
	全体		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18・19歳	10	2.0%	5	1.7%	5	2.5%	0	0.0%
20～29歳	58	11.4%	34	11.3%	23	11.4%	0	0.0%
30～39歳	81	15.9%	53	17.7%	27	13.4%	0	0.0%
40～49歳	94	18.4%	63	21.0%	31	15.4%	0	0.0%
50～59歳	99	19.4%	57	19.0%	41	20.4%	1	20.0%
60～64歳	39	7.6%	24	8.0%	14	7.0%	0	0.0%
65～69歳	50	9.8%	24	8.0%	25	12.4%	0	0.0%
70～74歳	36	7.0%	18	6.0%	17	8.5%	0	0.0%
75歳以上	40	7.8%	22	7.3%	18	9.0%	0	0.0%
無回答	4	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%	5	100.0%

3.職 業



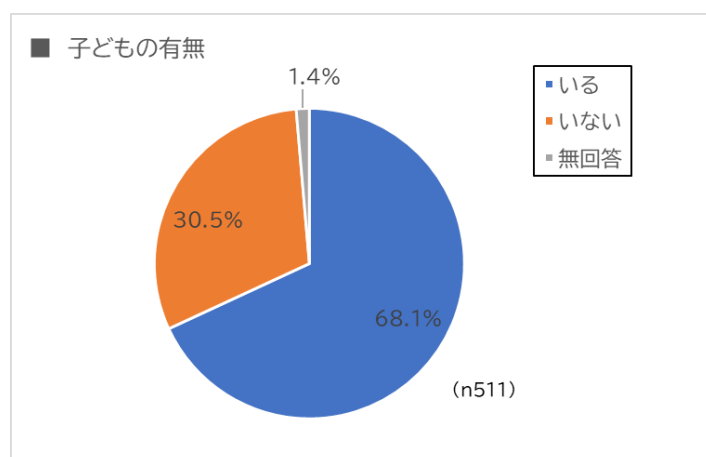
	全体		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農業	6	1.2%	3	1.0%	3	1.5%	0	0.0%
自営業	45	8.8%	13	4.3%	32	15.9%	0	0.0%
会社員・公務員(常勤)	185	36.2%	86	28.7%	96	47.8%	1	20.0%
会社員・公務員(非常勤)	88	17.2%	76	25.3%	11	5.5%	0	0.0%
学生(予備校含む)	28	5.5%	14	4.7%	14	7.0%	0	0.0%
専業主婦・専業主夫	65	12.7%	63	21.0%	1	0.5%	0	0.0%
無職	62	12.1%	24	8.0%	38	18.9%	0	0.0%
その他	24	4.7%	19	6.3%	4	2.0%	0	0.0%
無回答	8	1.6%	2	0.7%	2	1.0%	4	80.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%	5	100.0%

4.婚姻の状況



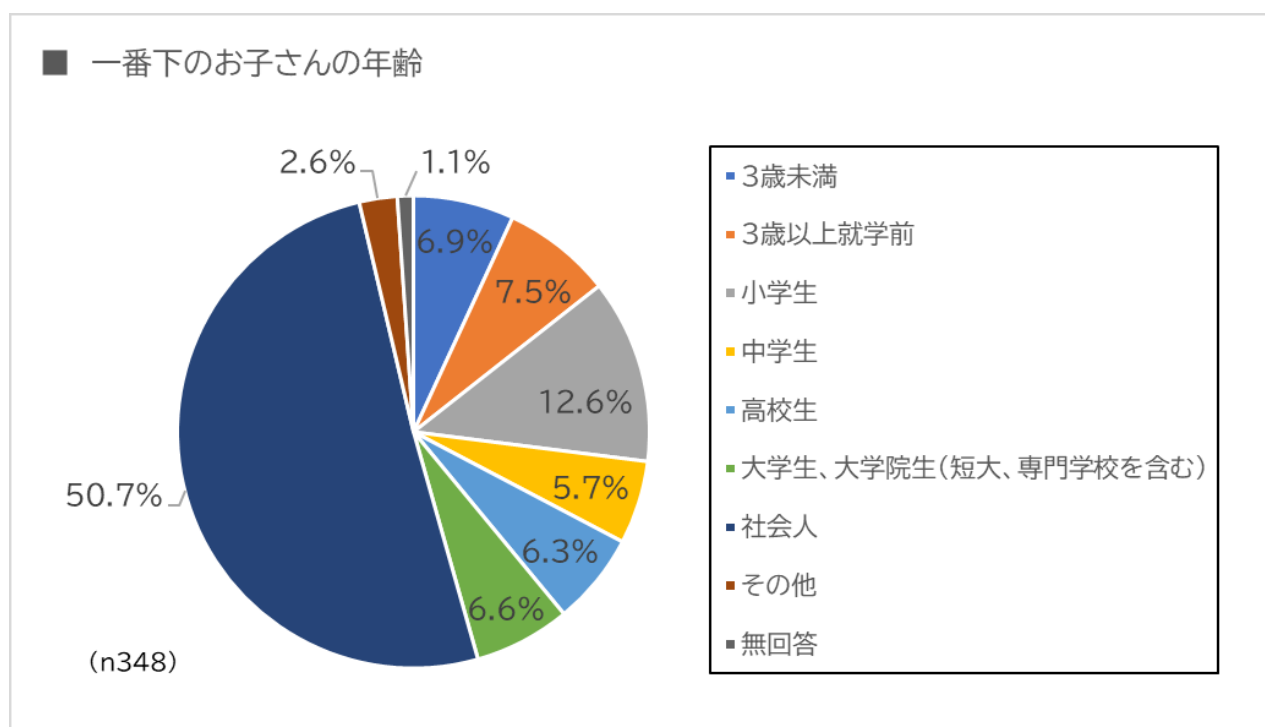
	全体		女性		男性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚している	341	66.7%	204	68.0%	133	66.2%	1	20.0%
結婚していたが、死別・離別した	40	7.8%	31	10.3%	8	4.0%	0	0.0%
結婚していない	125	24.5%	64	21.3%	60	29.9%	0	0.0%
無回答	5	1.0%	1	0.3%	0	0.0%	4	80.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%	5	100.0%

5.子どもの有無



	回答数	構成比
いる	348	68.1%
いない	156	30.5%
無回答	7	1.4%
計	511	100.0%

6.一番下の子どもの年齢

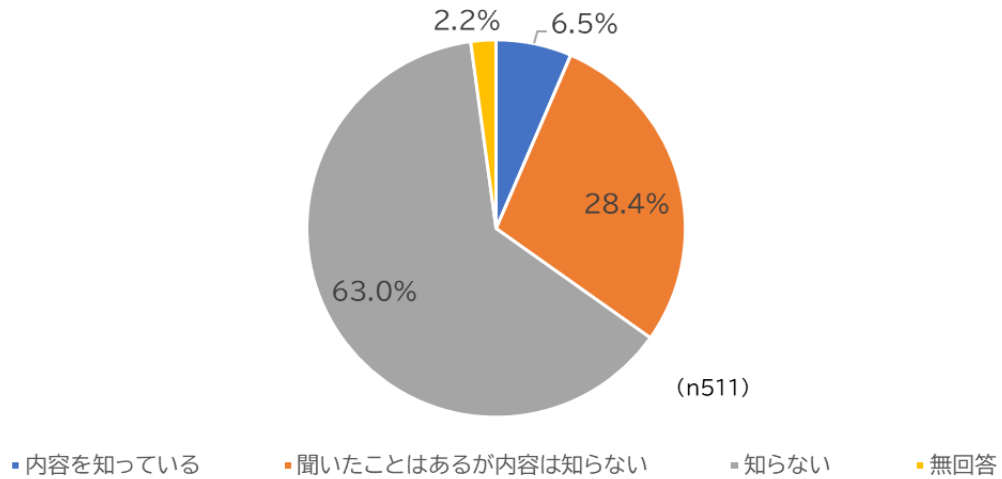


	回答数	構成比
3歳未満	24	6.9%
3歳以上就学前	26	7.5%
小学生	44	12.6%
中学生	20	5.7%
高校生	22	6.3%
大学生、大学院生(短大、専門学校を含む)	23	6.6%
社会人	176	50.7%
その他	9	2.6%
無回答	4	1.1%
計	348	100.0%

第3章 調査の結果

1.「“らんざん”男女が共にいきいきと暮らせるまちづくり条例」の認知度について

問1 「“らんざん”男女が共にいきいきと暮らせるまちづく条例」を知っていますか。

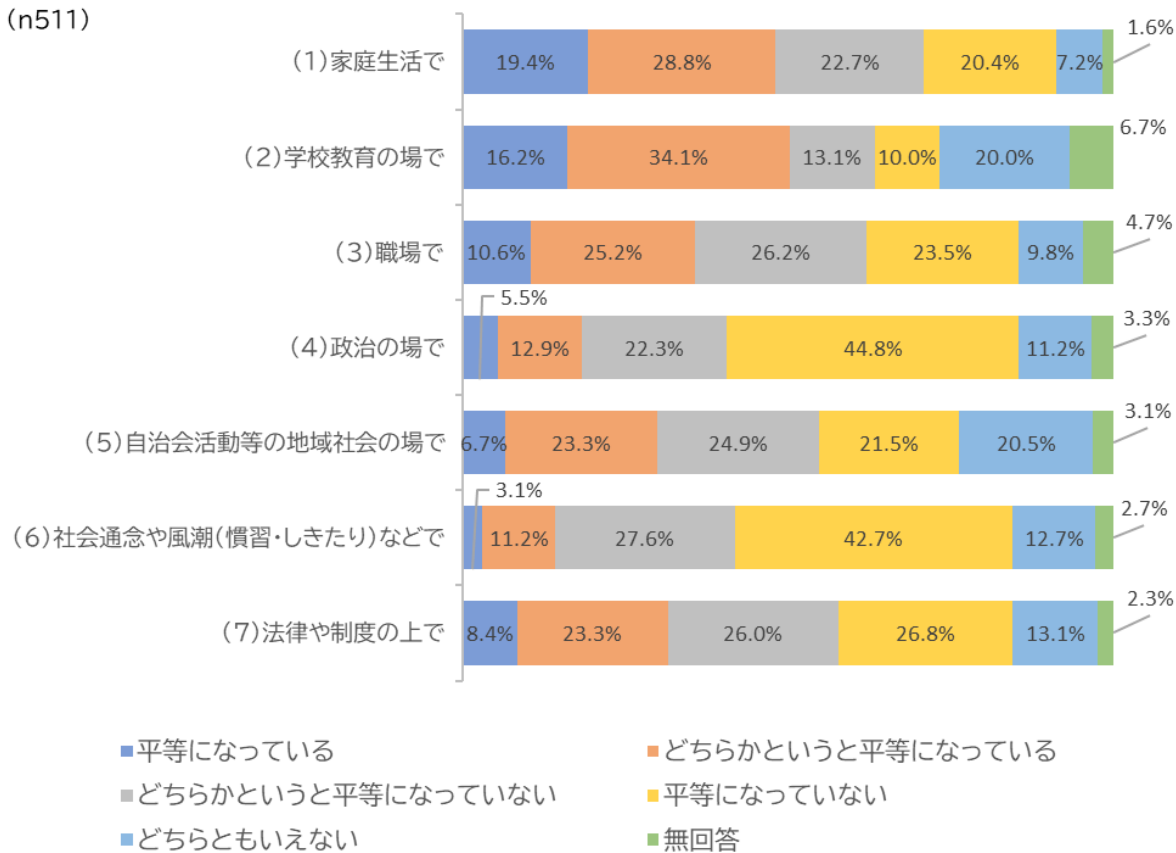


	回答数	構成比
内容を知っている	33	6.5%
聞いたことはあるが内容は知らない	145	28.4%
知らない	322	63.0%
無回答	11	2.2%
計	511	100.0%

2.男女平等に関する意識について

問2 男女の地位は平等になっていると思いますか。

(n511)



(1)家庭生活で		
	回答数	構成比
平等になっている	99	19.4%
どちらかというと平等になっている	147	28.8%
どちらかというと平等になっていない	116	22.7%
平等になっていない	104	20.4%
どちらともいえない	37	7.2%
無回答	8	1.6%
計	511	100.0%

(2)学校教育の場で		
	回答数	構成比
平等になっている	83	16.2%
どちらかというと平等になっている	174	34.1%
どちらかというと平等になっていない	67	13.1%
平等になっていない	51	10.0%
どちらともいえない	102	20.0%
無回答	34	6.7%
計	511	100.0%

(3)職場で		
	回答数	構成比
平等になっている	54	10.6%
どちらかというと平等になっている	129	25.2%
どちらかというと平等になっていない	134	26.2%
平等になっていない	120	23.5%
どちらともいえない	50	9.8%
無回答	24	4.7%
計	511	100.0%

(4)政治の場で		
	回答数	構成比
平等になっている	28	5.5%
どちらかというと平等になっている	66	12.9%
どちらかというと平等になっていない	114	22.3%
平等になっていない	229	44.8%
どちらともいえない	57	11.2%
無回答	17	3.3%
計	511	100.0%

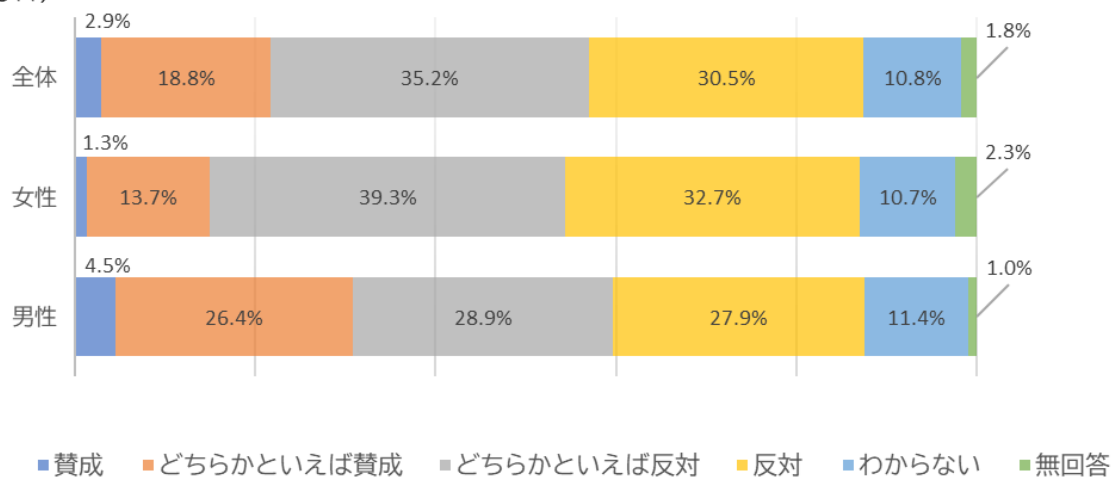
(5)自治会活動等の地域社会の場で		
	回答数	構成比
平等になっている	34	6.7%
どちらかというと平等になっている	119	23.3%
どちらかというと平等になっていない	127	24.9%
平等になっていない	110	21.5%
どちらともいえない	105	20.5%
無回答	16	3.1%
計	511	100.0%

(6)社会通念や風潮(慣習・しきたり)などで		
	回答数	構成比
平等になっている	16	3.1%
どちらかというと平等になっている	57	11.2%
どちらかというと平等になっていない	141	27.6%
平等になっていない	218	42.7%
どちらともいえない	65	12.7%
無回答	14	2.7%
計	511	100.0%

(7)法律や制度の上で		
	回答数	構成比
平等になっている	43	8.4%
どちらかというと平等になっている	119	23.3%
どちらかというと平等になっていない	133	26.0%
平等になっていない	137	26.8%
どちらともいえない	67	13.1%
無回答	12	2.3%
計	511	100.0%

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

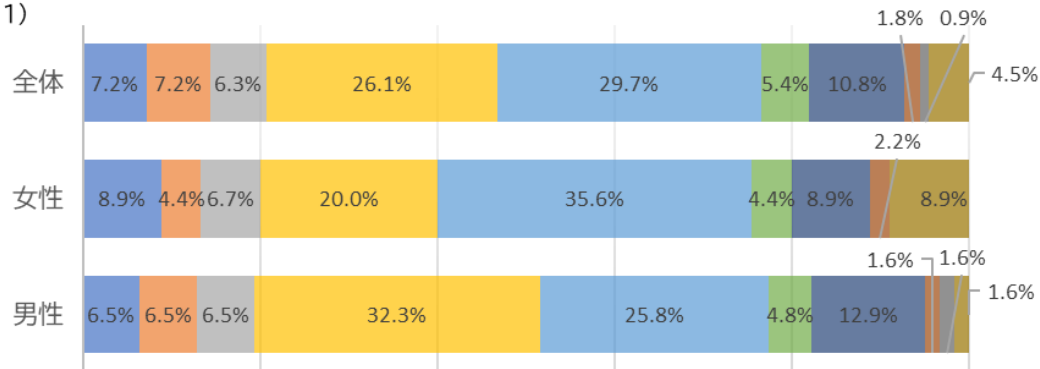
(n511)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	15	2.9%	4	1.3%	9	4.5%
どちらかといえば賛成	96	18.8%	41	13.7%	53	26.4%
どちらかといえば反対	180	35.2%	118	39.3%	58	28.9%
反対	156	30.5%	98	32.7%	56	27.9%
わからない	55	10.8%	32	10.7%	23	11.4%
無回答	9	1.8%	7	2.3%	2	1.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問3-1 問3で「賛成」または「どちらかといえば賛成」を選択した理由

(n111)

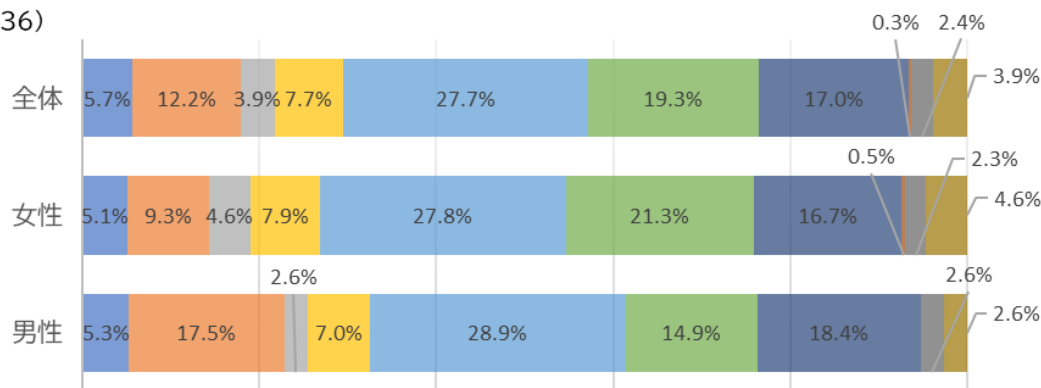


- 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
- 自分の両親も役割分担をしていたから
- 性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから
- 子どもの成長などにとって良いと思うから
- 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
- 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 個人的にそうありたいと思うから
- 理由を考えたことはない
- その他
- 無回答

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	8	7.2%	4	8.9%	4	6.5%
自分の両親も役割分担をしていたから	8	7.2%	2	4.4%	4	6.5%
性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから	7	6.3%	3	6.7%	4	6.5%
子どもの成長などにとって良いと思うから	29	26.1%	9	20.0%	20	32.3%
家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから	33	29.7%	16	35.6%	16	25.8%
男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	6	5.4%	2	4.4%	3	4.8%
個人的にそうありたいと思うから	12	10.8%	4	8.9%	8	12.9%
理由を考えたことはない	2	1.8%	1	2.2%	1	1.6%
その他	1	0.9%	0	0.0%	1	1.6%
無回答	5	4.5%	4	8.9%	1	1.6%
合計	111	100.0%	45	100.0%	62	100.0%

問3-1 問3で「反対」または「どちらかといえば反対」を選択した理由

(n336)

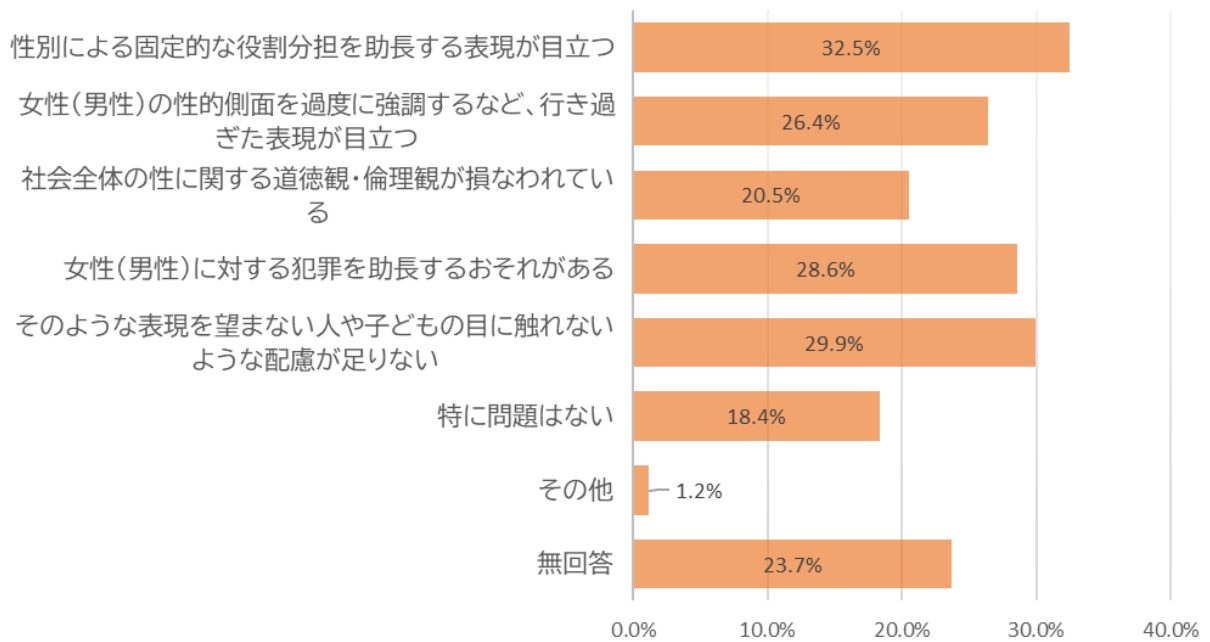


- 男女平等に反すると思うから
- 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとっても損失だと思うから
- 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
- 男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 話し合いで自由な選択ができる方が良いと思うから
- 男性も家事・育児・介護をする必要があると思うから
- 一方的な考えを押しつけるのは良くないと思うから
- 理由を考えたことはない
- その他
- 無回答

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男女平等に反すると思うから	19	5.7%	11	5.1%	6	5.3%
女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとっても損失だと思うから	41	12.2%	20	9.3%	20	17.5%
家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから	13	3.9%	10	4.6%	3	2.6%
男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	26	7.7%	17	7.9%	8	7.0%
話し合いで自由な選択ができる方が良いと思うから	93	27.7%	60	27.8%	33	28.9%
男性も家事・育児・介護をする必要があると思うから	65	19.3%	46	21.3%	17	14.9%
一方的な考えを押しつけるのは良くないと思うから	57	17.0%	36	16.7%	21	18.4%
理由を考えたことはない	1	0.3%	1	0.5%	0	0.0%
その他	8	2.4%	5	2.3%	3	2.6%
無回答	13	3.9%	10	4.6%	3	2.6%
合計	336	100.0%	216	100.0%	114	100.0%

問4 メディアでの性の表現について【テレビ・映画】

(n511)

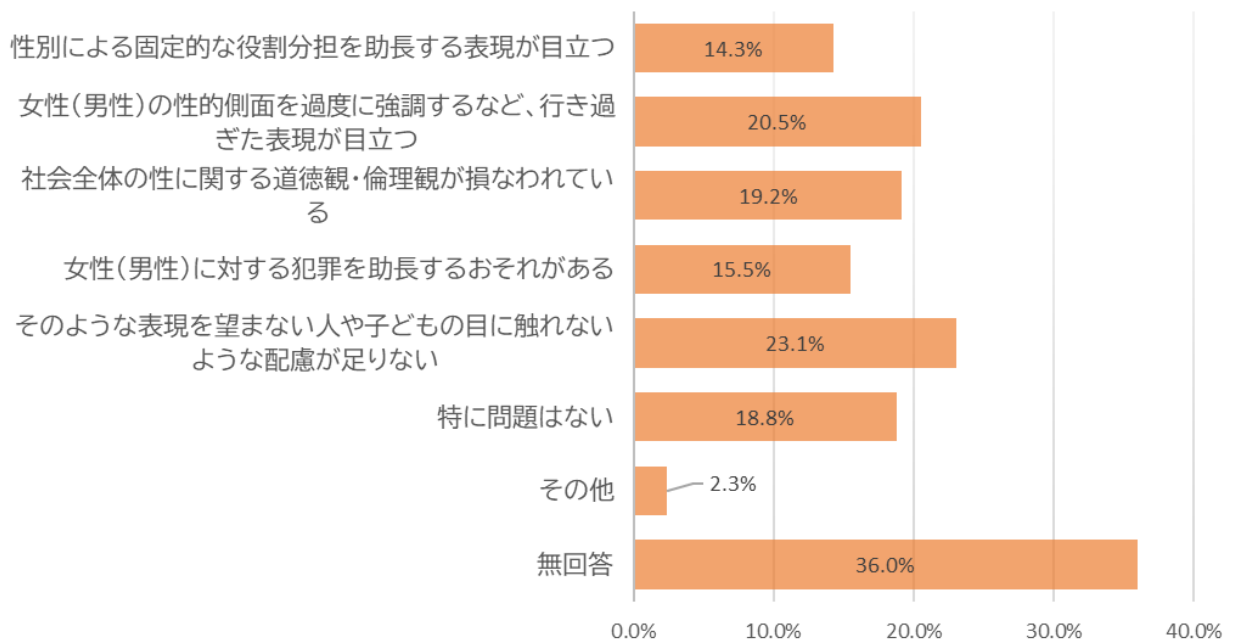


【テレビ・映画】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ	166	32.5%	100	33.3%	65	32.3%
女性(男性)の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	135	26.4%	75	25.0%	59	29.4%
社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている	105	20.5%	52	17.3%	51	25.4%
女性(男性)に対する犯罪を助長するおそれがある	146	28.6%	88	29.3%	55	27.4%
そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	153	29.9%	97	32.3%	53	26.4%
特に問題はない	94	18.4%	42	14.0%	49	24.4%
その他	6	1.2%	3	1.0%	3	1.5%
無回答	121	23.7%	78	26.0%	41	20.4%

問4 メディアでの性の表現について【新聞・雑誌】

(n511)

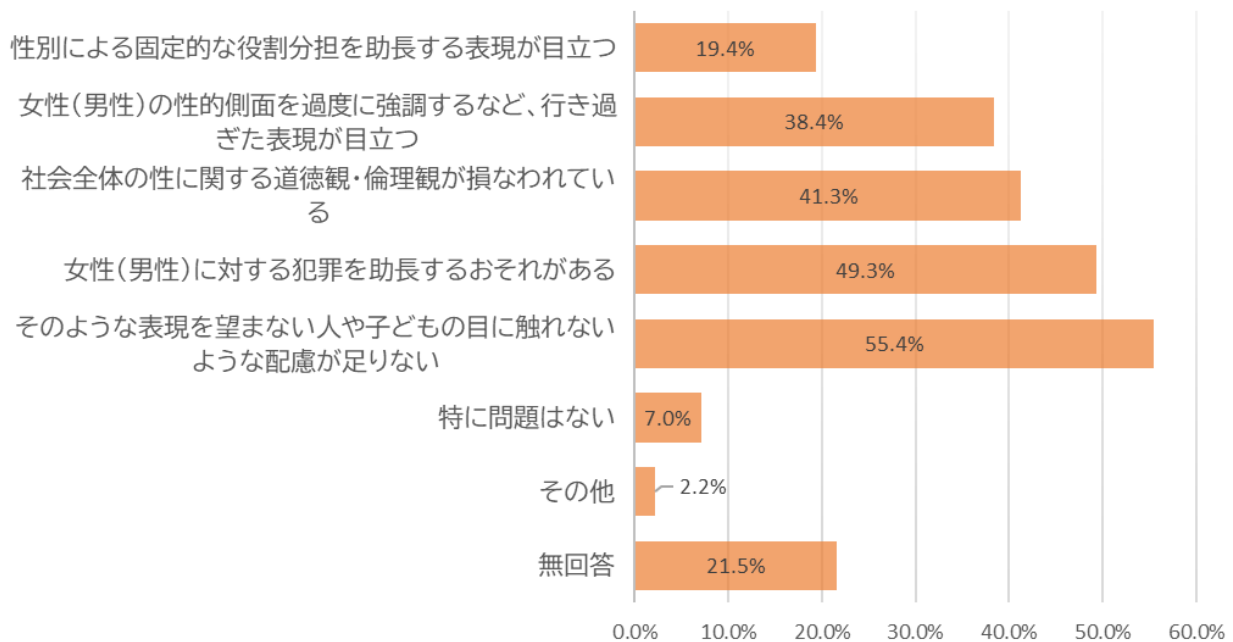


【新聞・雑誌】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ	73	14.3%	36	12.0%	35	17.4%
女性(男性)の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	105	20.5%	59	19.7%	44	21.9%
社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている	98	19.2%	50	16.7%	45	22.4%
女性(男性)に対する犯罪を助長するおそれがある	79	15.5%	41	13.7%	36	17.9%
そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	118	23.1%	64	21.3%	51	25.4%
特に問題はない	96	18.8%	47	15.7%	47	23.4%
その他	12	2.3%	6	2.0%	6	3.0%
無回答	184	36.0%	122	40.7%	60	29.9%

問4 メディアでの性の表現について【インターネット】

(n511)



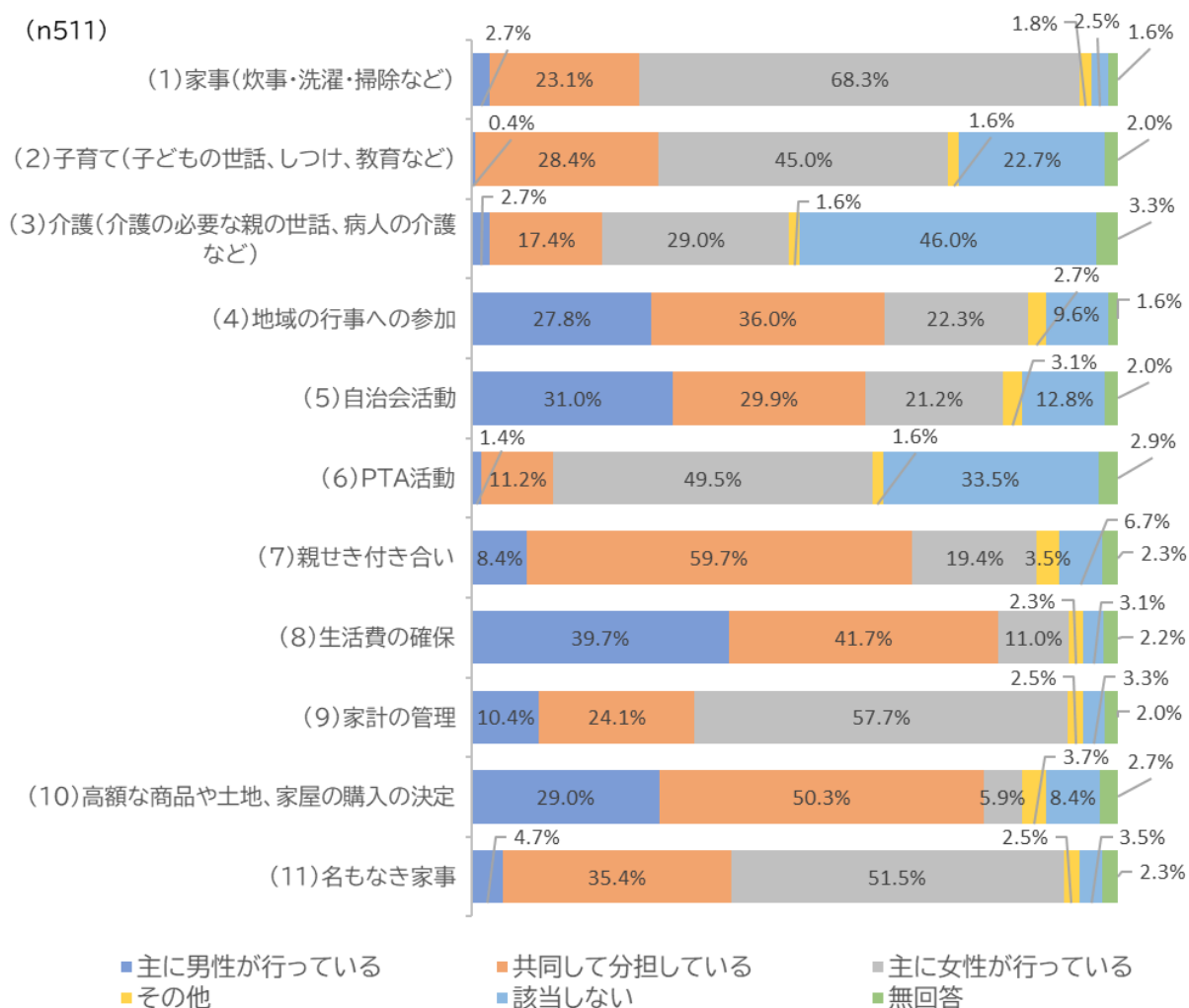
【インターネット】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ	99	19.4%	57	19.0%	41	20.4%
女性(男性)の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	196	38.4%	113	37.7%	82	40.8%
社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている	211	41.3%	117	39.0%	92	45.8%
女性(男性)に対する犯罪を助長するおそれがある	252	49.3%	146	48.7%	102	50.7%
そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	283	55.4%	161	53.7%	119	59.2%
特に問題はない	36	7.0%	21	7.0%	12	6.0%
その他	11	2.2%	6	2.0%	5	2.5%
無回答	110	21.5%	68	22.7%	39	19.4%

3. 家庭生活・子育てについて

問5 家庭生活での役割分担について

(n511)



(1)家事(炊事・洗濯・掃除など)		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	14	2.7%
共同して分担している	118	23.1%
主に女性が行っている	349	68.3%
その他	9	1.8%
該当しない	13	2.5%
無回答	8	1.6%
計	511	100.0%

(2)子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	2	0.4%
共同して分担している	145	28.4%
主に女性が行っている	230	45.0%
その他	8	1.6%
該当しない	116	22.7%
無回答	10	2.0%
計	511	100.0%

(3)介護(介護の必要な親の世話、病人の介護など)		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	14	2.7%
共同して分担している	89	17.4%
主に女性が行っている	148	29.0%
その他	8	1.6%
該当しない	235	46.0%
無回答	17	3.3%
計	511	100.0%

(4)地域の行事への参加		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	142	27.8%
共同して分担している	184	36.0%
主に女性が行っている	114	22.3%
その他	14	2.7%
該当しない	49	9.6%
無回答	8	1.6%
計	511	100.0%

(5)自治会活動		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	158	31.0%
共同して分担している	152	29.9%
主に女性が行っている	108	21.2%
その他	16	3.1%
該当しない	65	12.8%
無回答	10	2.0%
計	509	100.0%

(6)PTA活動		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	7	1.4%
共同して分担している	57	11.2%
主に女性が行っている	253	49.5%
その他	8	1.6%
該当しない	171	33.5%
無回答	15	2.9%
計	511	100.0%

(7)親せき付き合い		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	43	8.4%
共同して分担している	305	59.7%
主に女性が行っている	99	19.4%
その他	18	3.5%
該当しない	34	6.7%
無回答	12	2.3%
計	511	100.0%

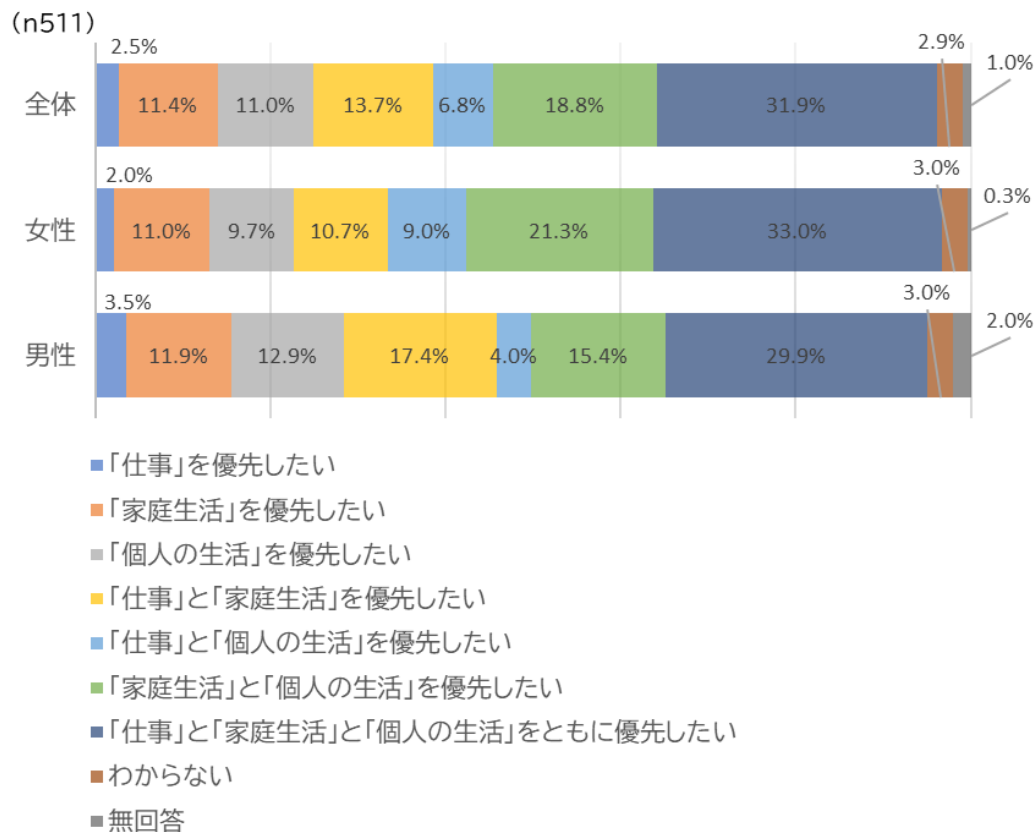
(8)生活費の確保		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	203	39.7%
共同して分担している	213	41.7%
主に女性が行っている	56	11.0%
その他	12	2.3%
該当しない	16	3.1%
無回答	11	2.2%
計	511	100.0%

(9)家計の管理		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	53	10.4%
共同して分担している	123	24.1%
主に女性が行っている	295	57.7%
その他	13	2.5%
該当しない	17	3.3%
無回答	10	2.0%
計	511	100.0%

(10)高額な商品や土地、家屋の購入の決定		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	148	29.0%
共同して分担している	257	50.3%
主に女性が行っている	30	5.9%
その他	19	3.7%
該当しない	43	8.4%
無回答	14	2.7%
計	511	100.0%

(11)名もなき家事		
	回答数	構成比
主に男性が行っている	24	4.7%
共同して分担している	181	35.4%
主に女性が行っている	263	51.5%
その他	13	2.5%
該当しない	18	3.5%
無回答	12	2.3%
計	511	100.0%

問6 生活の中で優先したいことについて【理想】

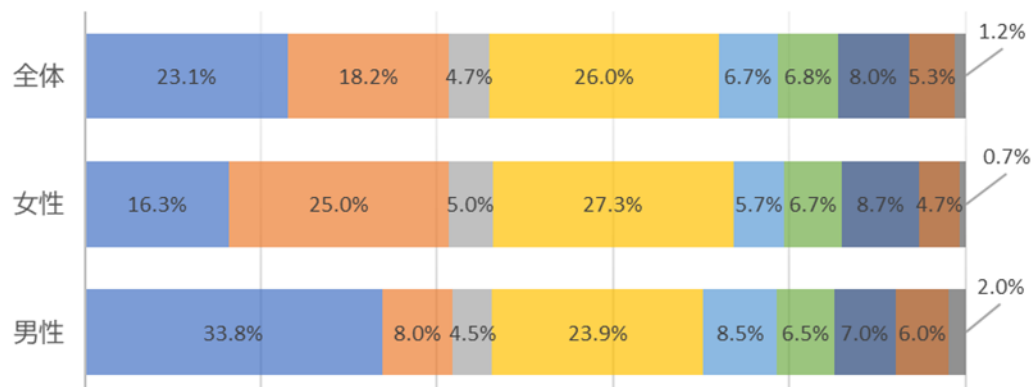


【理想】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
「仕事」を優先したい	13	2.5%	6	2.0%	7	3.5%
「家庭生活」を優先したい	58	11.4%	33	11.0%	24	11.9%
「個人の生活」を優先したい	56	11.0%	29	9.7%	26	12.9%
「仕事」と「家庭生活」を優先したい	70	13.7%	32	10.7%	35	17.4%
「仕事」と「個人の生活」を優先したい	35	6.8%	27	9.0%	8	4.0%
「家庭生活」と「個人の生活」を優先したい	96	18.8%	64	21.3%	31	15.4%
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したい	163	31.9%	99	33.0%	60	29.9%
わからない	15	2.9%	9	3.0%	6	3.0%
無回答	5	1.0%	1	0.3%	4	2.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問6 生活の中で優先していることについて【現実】

(n511)



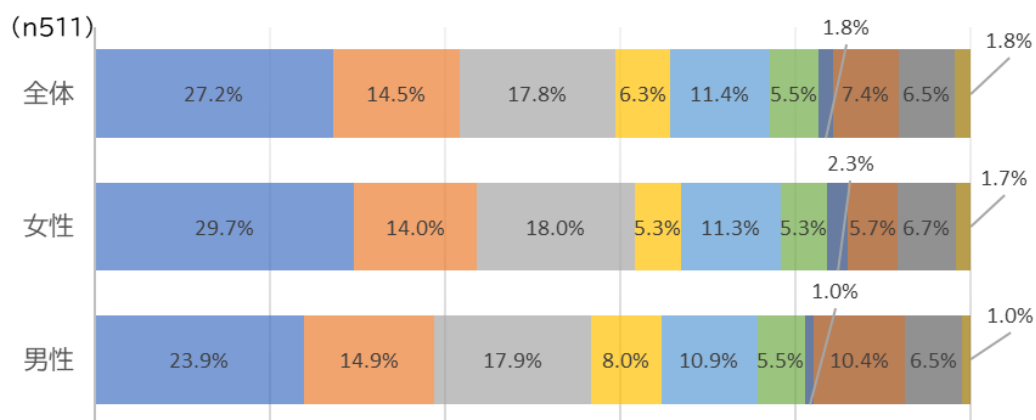
- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- 「個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」を優先している
- 「仕事」と「個人の生活」を優先している
- 「家庭生活」と「個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先している
- わからない
- 無回答

【現実】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
「仕事」を優先している	118	23.1%	49	16.3%	68	33.8%
「家庭生活」を優先している	93	18.2%	75	25.0%	16	8.0%
「個人の生活」を優先している	24	4.7%	15	5.0%	9	4.5%
「仕事」と「家庭生活」を優先している	133	26.0%	82	27.3%	48	23.9%
「仕事」と「個人の生活」を優先している	34	6.7%	17	5.7%	17	8.5%
「家庭生活」と「個人の生活」を優先している	35	6.8%	20	6.7%	13	6.5%
「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先している	41	8.0%	26	8.7%	14	7.0%
わからない	27	5.3%	14	4.7%	12	6.0%
無回答	6	1.2%	2	0.7%	4	2.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

4 就業・仕事について

問7 女性の働き方についてどう考えていますか。【理想】

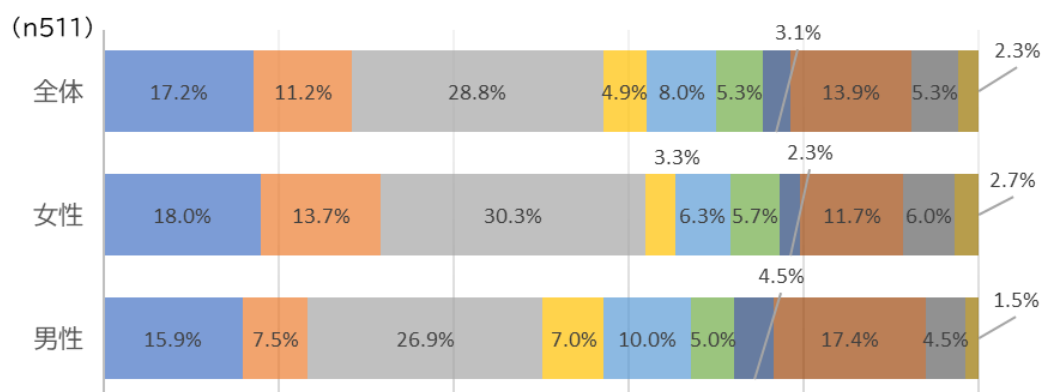


- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ
- 子どもができるまでは仕事もち、子どもができたら家事や子育てに専念する
- 結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念する
- 仕事をもらえない
- わからない
- その他
- 無回答

【理想】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	139	27.2%	89	29.7%	48	23.9%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	74	14.5%	42	14.0%	30	14.9%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	91	17.8%	54	18.0%	36	17.9%
結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ	32	6.3%	16	5.3%	16	8.0%
子どもができるまでは仕事もち、子どもができたら家事や子育てに専念する	58	11.4%	34	11.3%	22	10.9%
結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念する	28	5.5%	16	5.3%	11	5.5%
仕事をもらえない	9	1.8%	7	2.3%	2	1.0%
わからない	38	7.4%	17	5.7%	21	10.4%
その他	33	6.5%	20	6.7%	13	6.5%
無回答	9	1.8%	5	1.7%	2	1.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問7 女性の働き方についてどう考えていますか。【現実】



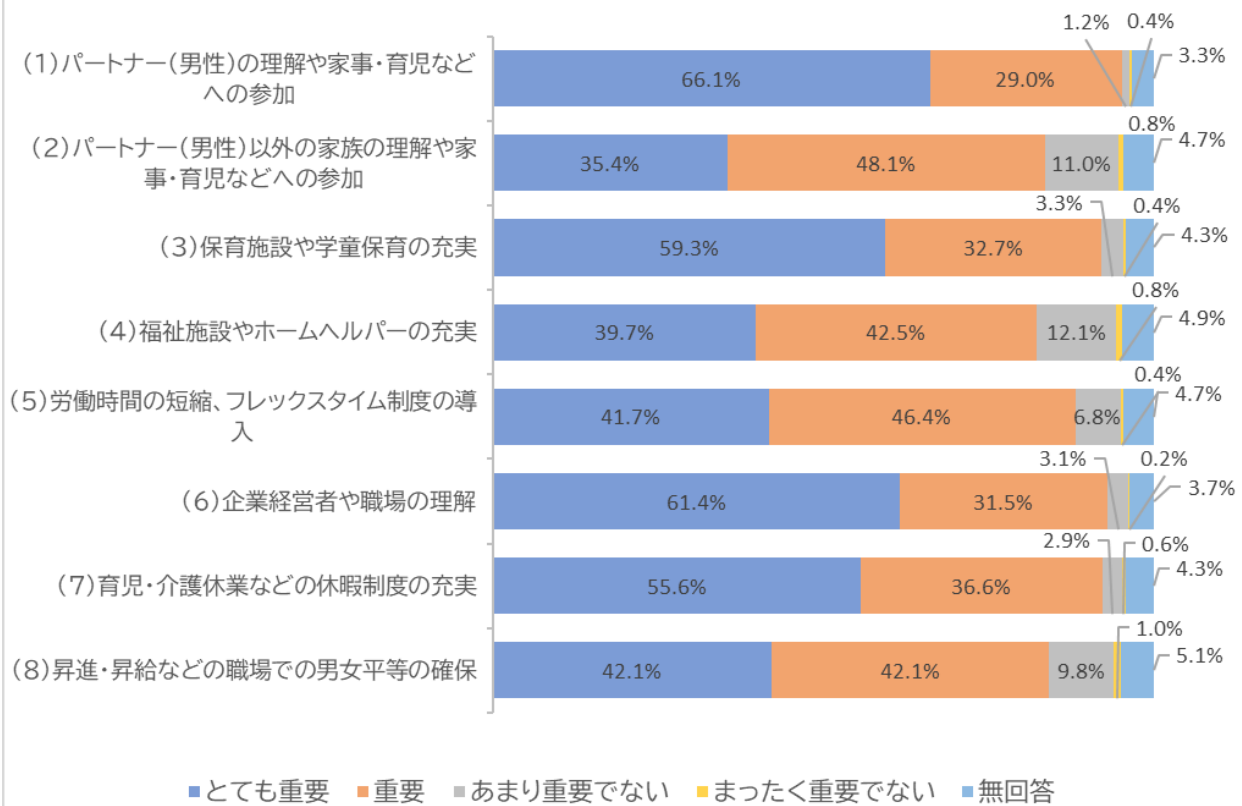
- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ
- 子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
- 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する
- 仕事をもたない
- わからない
- その他
- 無回答

【現実】

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	88	17.2%	54	18.0%	32	15.9%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	57	11.2%	41	13.7%	15	7.5%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	147	28.8%	91	30.3%	54	26.9%
結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ	25	4.9%	10	3.3%	14	7.0%
子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念する	41	8.0%	19	6.3%	20	10.0%
結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する	27	5.3%	17	5.7%	10	5.0%
仕事をもたない	16	3.1%	7	2.3%	9	4.5%
わからない	71	13.9%	35	11.7%	35	17.4%
その他	27	5.3%	18	6.0%	9	4.5%
無回答	12	2.3%	8	2.7%	3	1.5%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問8 女性が働き続けるためにどんなことが重要だと思いますか。

(n511)



(1)パートナー(男性)の理解や家事・育児などへの参加

	回答数	構成比
とても重要	337	66.1%
重要	148	29.0%
あまり重要でない	6	1.2%
まったく重要でない	2	0.4%
無回答	17	3.3%
計	510	100.0%

(2)パートナー(男性)以外の家族の理解や家事・育児などへの参加

	回答数	構成比
とても重要	181	35.4%
重要	246	48.1%
あまり重要でない	56	11.0%
まったく重要でない	4	0.8%
無回答	24	4.7%
計	511	100.0%

(3)保育施設や学童保育の充実

	回答数	構成比
とても重要	303	59.3%
重要	167	32.7%
あまり重要でない	17	3.3%
まったく重要でない	2	0.4%
無回答	22	4.3%
計	511	100.0%

(4)福祉施設やホームヘルパーの充実

	回答数	構成比
とても重要	203	39.7%
重要	217	42.5%
あまり重要でない	62	12.1%
まったく重要でない	4	0.8%
無回答	25	4.9%
計	511	100.0%

(5)労働時間の短縮、フレックスタイム制度の導入

	回答数	構成比
とても重要	213	41.7%
重要	237	46.4%
あまり重要でない	35	6.8%
まったく重要でない	2	0.4%
無回答	24	4.7%
計	511	100.0%

(6)企業経営者や職場の理解

	回答数	構成比
とても重要	314	61.4%
重要	161	31.5%
あまり重要でない	16	3.1%
まったく重要でない	1	0.2%
無回答	19	3.7%
計	511	100.0%

(7)育児・介護休業などの休暇制度の充実

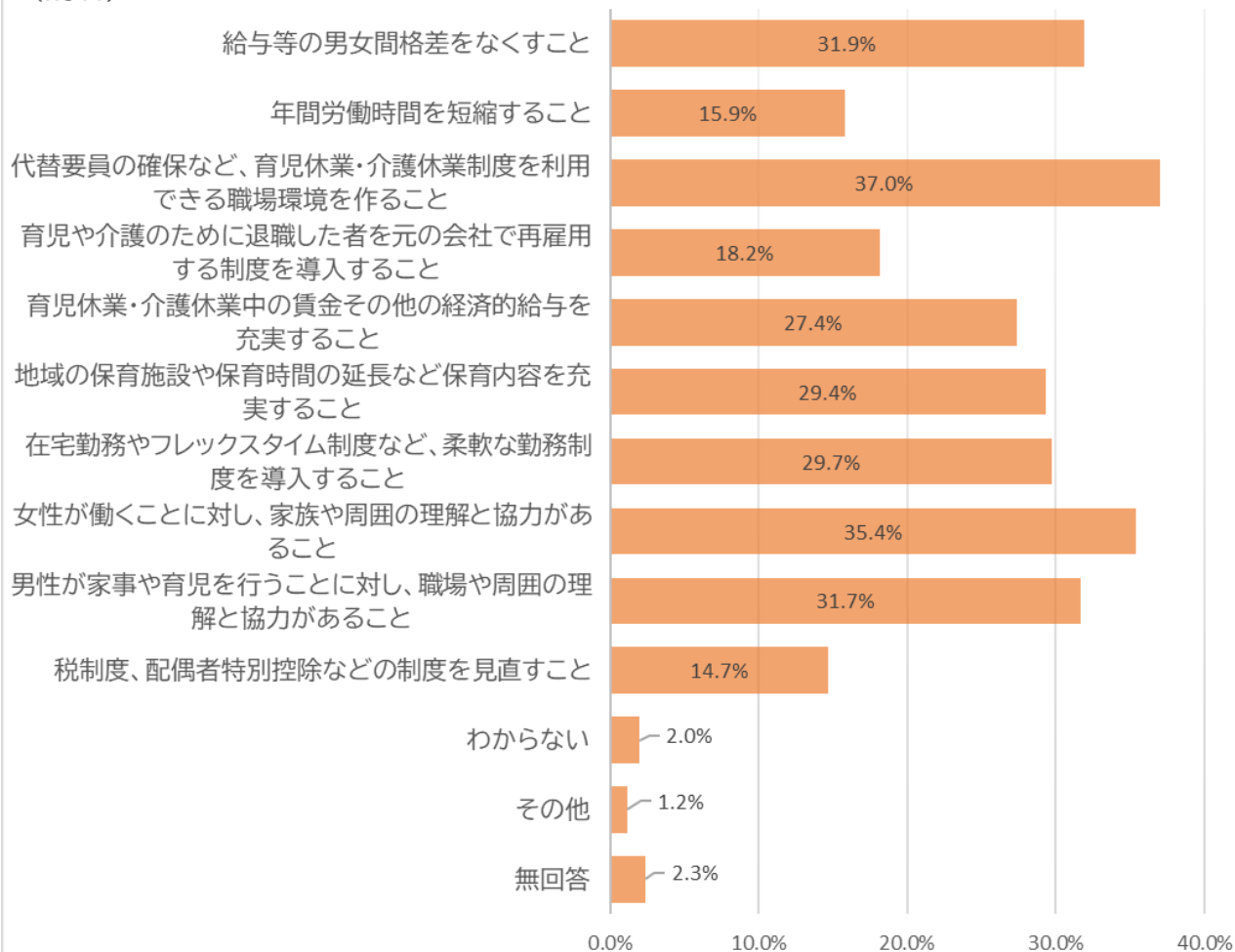
	回答数	構成比
とても重要	284	55.6%
重要	187	36.6%
あまり重要でない	15	2.9%
まったく重要でない	3	0.6%
無回答	22	4.3%
計	511	100.0%

(8)昇進・昇給などの職場での男女平等の確保

	回答数	構成比
とても重要	215	42.1%
重要	215	42.1%
あまり重要でない	50	9.8%
まったく重要でない	5	1.0%
無回答	26	5.1%
計	511	100.0%

問9 仕事と家庭の両立するためにどんなことが必要だと思いますか。

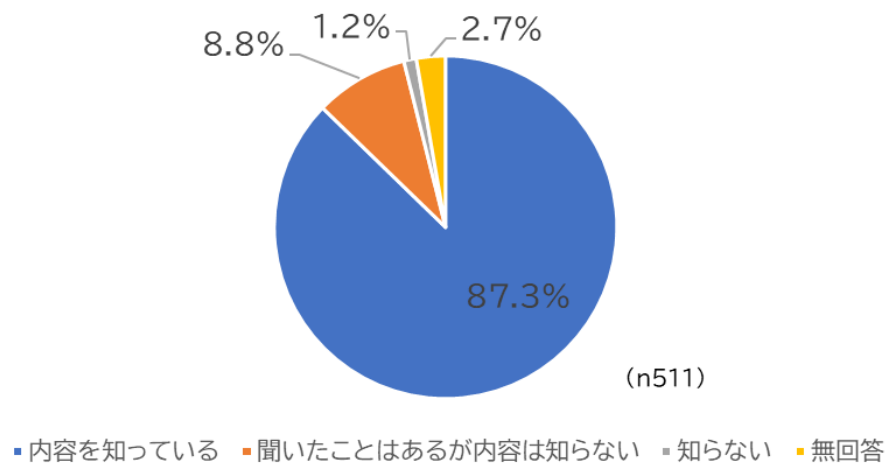
(n511)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
給与等の男女間格差をなくすこと	163	31.9%	95	31.7%	65	32.3%
年間労働時間を短縮すること	81	15.9%	39	13.0%	40	19.9%
代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること	189	37.0%	110	36.7%	78	38.8%
育児や介護のために退職した者を元の会社で再雇用する制度を導入すること	93	18.2%	58	19.3%	34	16.9%
育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること	140	27.4%	88	29.3%	51	25.4%
地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること	150	29.4%	90	30.0%	59	29.4%
在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること	152	29.7%	85	28.3%	63	31.3%
女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること	181	35.4%	108	36.0%	72	35.8%
男性が家事や育児を行うことに対し、職場や周囲の理解と協力があること	162	31.7%	100	33.3%	59	29.4%
税制度、配偶者特別控除などの制度を見直すこと	75	14.7%	41	13.7%	29	14.4%
わからない	10	2.0%	6	2.0%	3	1.5%
その他	6	1.2%	4	1.3%	2	1.0%
無回答	12	2.3%	9	3.0%	2	1.0%

5. 配偶者等に対する暴力について

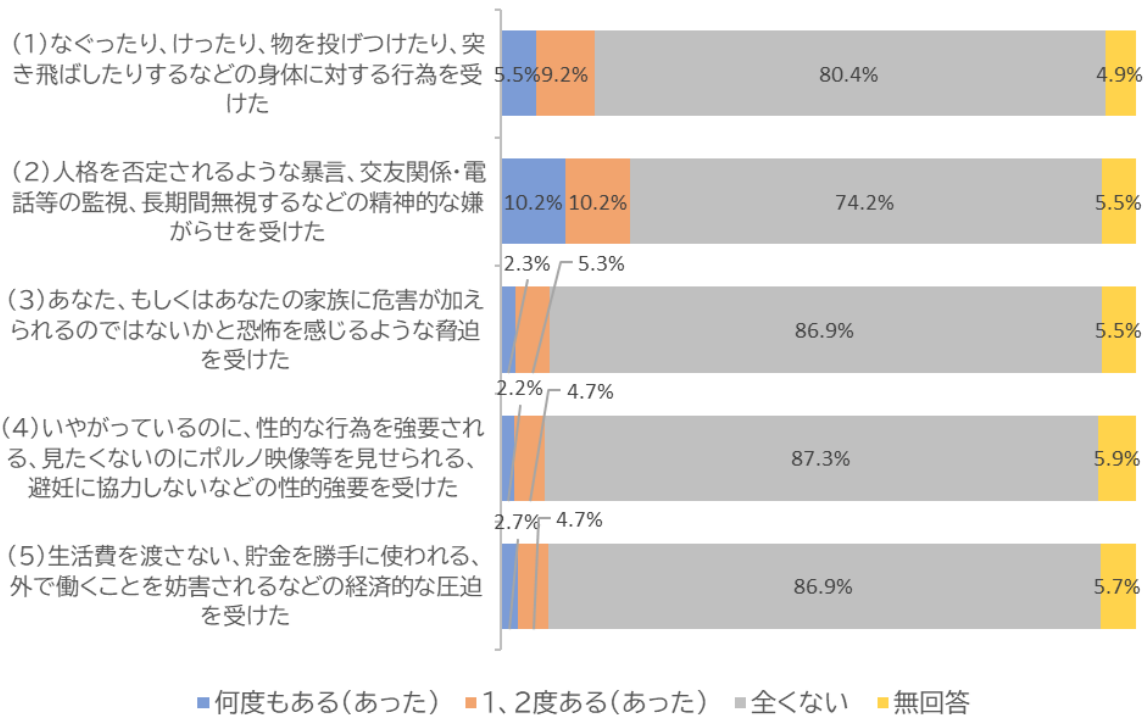
問10 DV(ドメスティックバイオレンス)を知っていますか。



	回答数	構成比
内容を知っている	446	87.3%
聞いたことはあるが内容は知らない	45	8.8%
知らない	6	1.2%
無回答	14	2.7%
計	511	100.0%

問11 配偶者・パートナーからの被害経験について

(n511)



【被害経験】

(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為を受けた

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	28	5.5%	21	7.0%	6	3.0%
1、2度ある(あった)	47	9.2%	33	11.0%	13	6.5%
全くない	411	80.4%	239	79.7%	164	81.6%
無回答	25	4.9%	7	2.3%	18	9.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(2) 人格を否定されるような暴言、交友関係・電話等の監視、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせを受けた

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	52	10.2%	43	14.3%	9	4.5%
1、2度ある(あった)	52	10.2%	29	9.7%	22	10.9%
全くない	379	74.2%	218	72.7%	154	76.6%
無回答	28	5.5%	10	3.3%	16	8.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(3)あなた、もしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	12	2.3%	9	3.0%	3	1.5%
1、2度ある(あった)	27	5.3%	17	5.7%	8	4.0%
全くない	444	86.9%	263	87.7%	174	86.6%
無回答	28	5.5%	11	3.7%	16	8.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(4)いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる
避妊に協力しないなどの性的強要を受けた

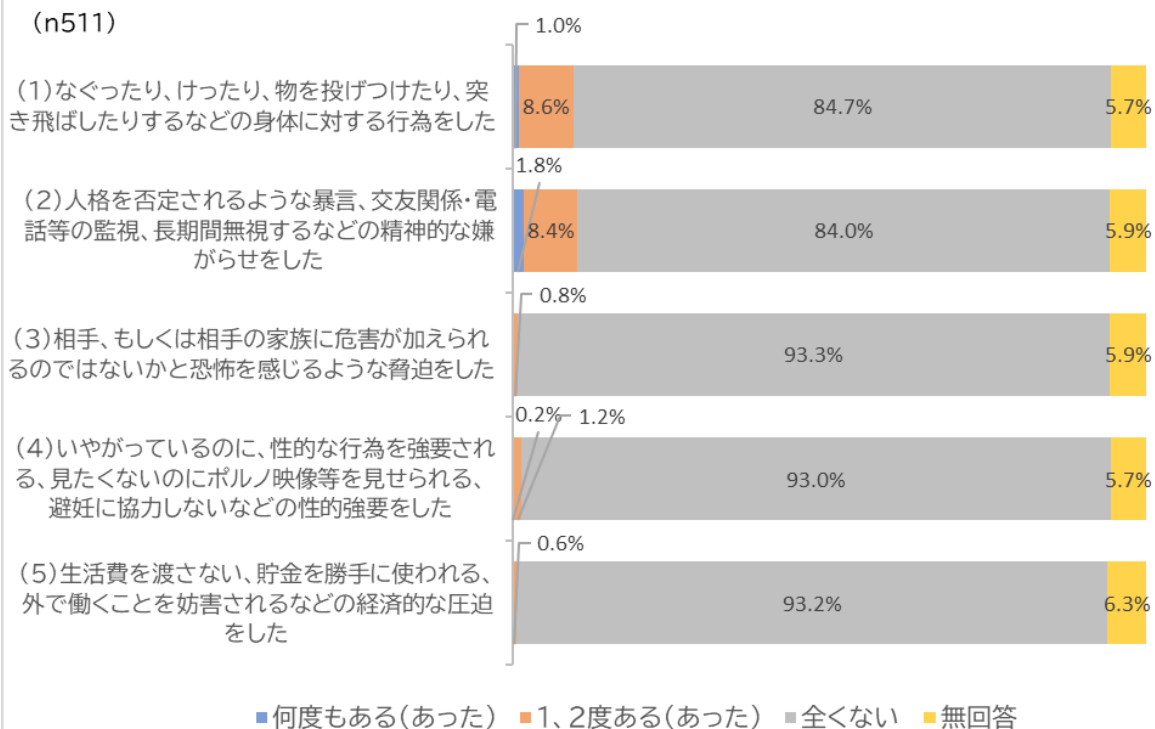
	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	11	2.2%	11	3.7%	0	0.0%
1、2度ある(あった)	24	4.7%	20	6.7%	4	2.0%
全くない	446	87.3%	259	86.3%	179	89.1%
無回答	30	5.9%	10	3.3%	18	9.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(5)生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなどの経済的な圧迫を受けた

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	14	2.7%	13	4.3%	1	0.5%
1、2度ある(あった)	24	4.7%	18	6.0%	5	2.5%
全くない	444	86.9%	259	86.3%	178	88.6%
無回答	29	5.7%	10	3.3%	17	8.5%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問11 配偶者・パートナーへの加害経験について

(n511)



【加害体験】

(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為をした

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	5	1.0%	4	1.3%	1	0.5%
1、2度ある(あった)	44	8.6%	21	7.0%	23	11.4%
全くない	433	84.7%	261	87.0%	162	80.6%
無回答	29	5.7%	14	4.7%	15	7.5%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(2) 人格を否定されるような暴言、交友関係・電話等の監視、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせをした

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	9	1.8%	4	1.3%	5	2.5%
1、2度ある(あった)	43	8.4%	29	9.7%	14	7.0%
全くない	429	84.0%	252	84.0%	168	83.6%
無回答	30	5.9%	15	5.0%	14	7.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(3)相手、もしくは相手の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をした

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1、2度ある(あった)	4	0.8%	1	0.3%	3	1.5%
全くない	477	93.3%	283	94.3%	184	91.5%
無回答	30	5.9%	16	5.3%	14	7.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(4)いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる
避妊に協力しないなどの性的強要をした

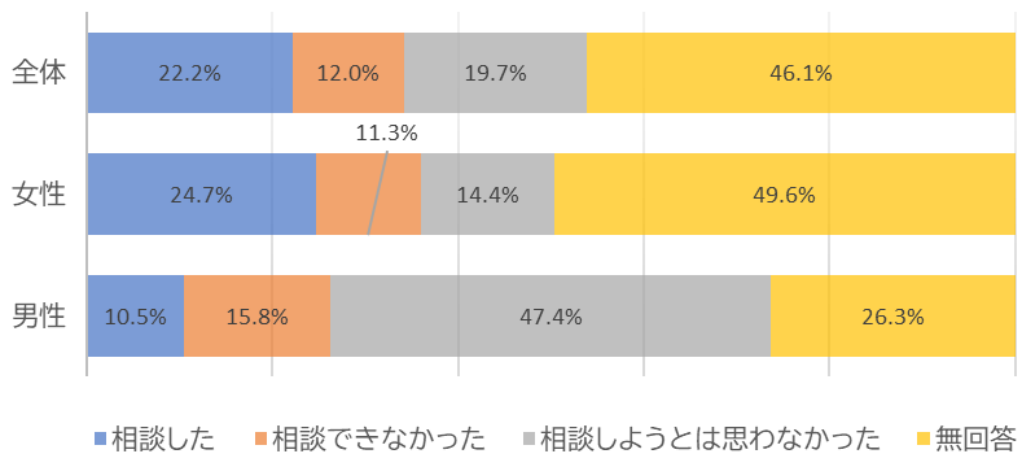
	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%
1、2度ある(あった)	6	1.2%	1	0.3%	5	2.5%
全くない	475	93.0%	284	94.7%	181	90.0%
無回答	29	5.7%	15	5.0%	14	7.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

(5)生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなどの経済的な圧迫をした

	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もある(あった)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1、2度ある(あった)	3	0.6%	1	0.3%	2	1.0%
全くない	476	93.2%	283	94.3%	183	91.0%
無回答	32	6.3%	16	5.3%	16	8.0%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

問11-1 暴力に対する相談について
(問11【被害経験】で「何度もある」と答えた方)

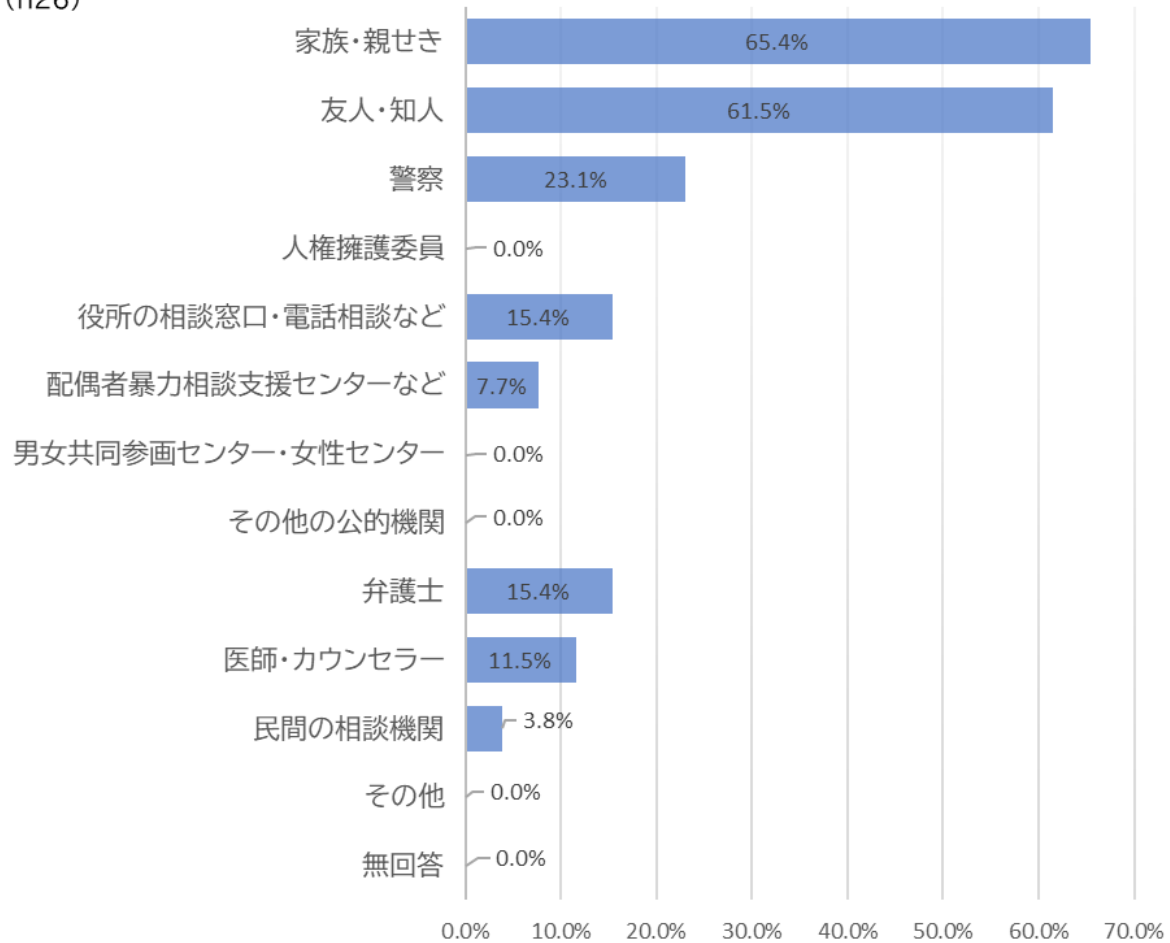
(n117)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
相談した	26	22.2%	24	24.7%	2	10.5%
相談できなかった	14	12.0%	11	11.3%	3	15.8%
相談しようとは思わなかった	23	19.7%	14	14.4%	9	47.4%
無回答	54	46.1%	48	49.6%	5	26.3%
合計	117	100.0%	97	100.0%	19	100.0%

問11-2 相談した人(場所)について
(問11-1で「相談した」と答えた方)

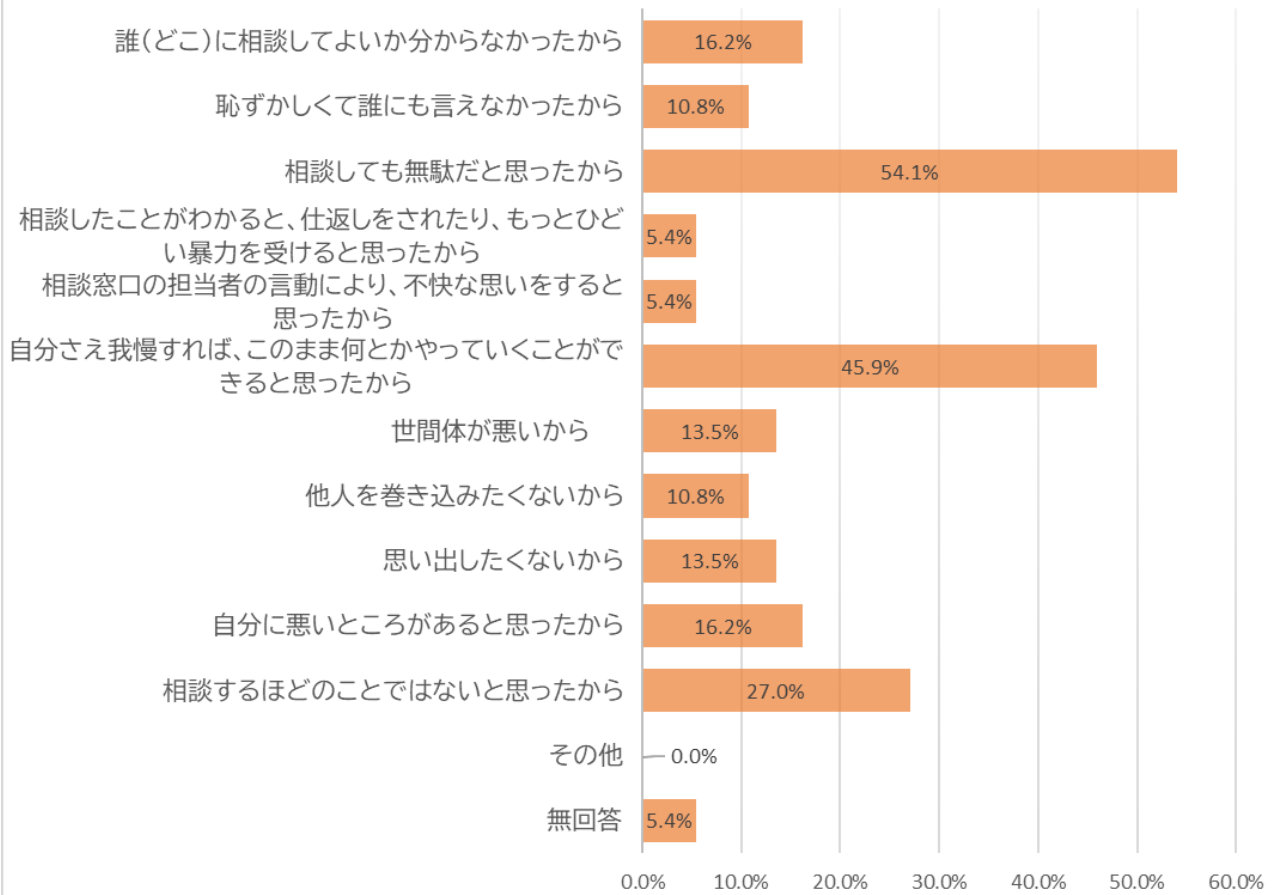
(n26)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
家族・親せき	17	65.4%	15	62.5%	2	100.0%
友人・知人	16	61.5%	15	62.5%	1	50.0%
警察	6	23.1%	5	20.8%	1	50.0%
人権擁護委員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
役所の相談窓口・電話相談など	4	15.4%	4	16.7%	0	0.0%
配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター・女性相談員	2	7.7%	2	8.3%	0	0.0%
男女共同参画センター・女性センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の公的機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
弁護士	4	15.4%	3	12.5%	1	50.0%
医師・カウンセラー	3	11.5%	3	12.5%	0	0.0%
民間の相談機関	1	3.8%	1	4.2%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問11-3 相談しなかった理由について
(問11-1で「相談できなかった」、「相談しようとは思わなかった」と答えた方)

(n37)

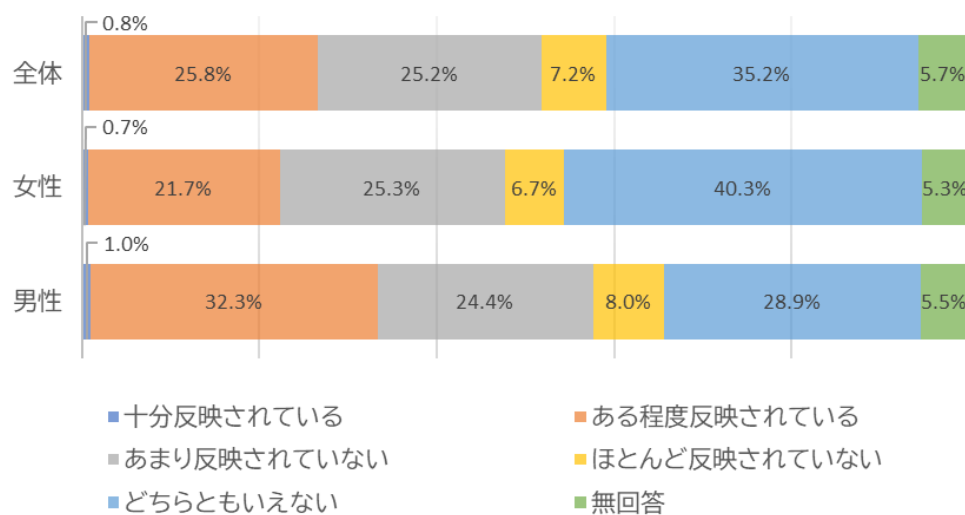


	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
誰(どこ)に相談してよいか分からなかったから	6	16.2%	3	12.0%	3	25.0%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	4	10.8%	2	8.0%	2	16.7%
相談しても無駄だと思ったから	20	54.1%	15	60.0%	5	41.7%
相談したことがわかって、仕返しをされたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	5.4%	1	4.0%	1	8.3%
相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	2	5.4%	1	4.0%	1	8.3%
自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができと思ったから	17	45.9%	12	48.0%	5	41.7%
世間体が悪いから	5	13.5%	3	12.0%	2	16.7%
他人を巻き込みたくないから	4	10.8%	2	8.0%	2	16.7%
思い出したくないから	5	13.5%	2	8.0%	3	25.0%
自分に悪いところがあると思ったから	6	16.2%	3	12.0%	3	25.0%
相談するほどのことではないと思ったから	10	27.0%	7	28.0%	3	25.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	5.4%	2	8.0%	0	0.0%

6. 男女共同参画を推進するための取組について

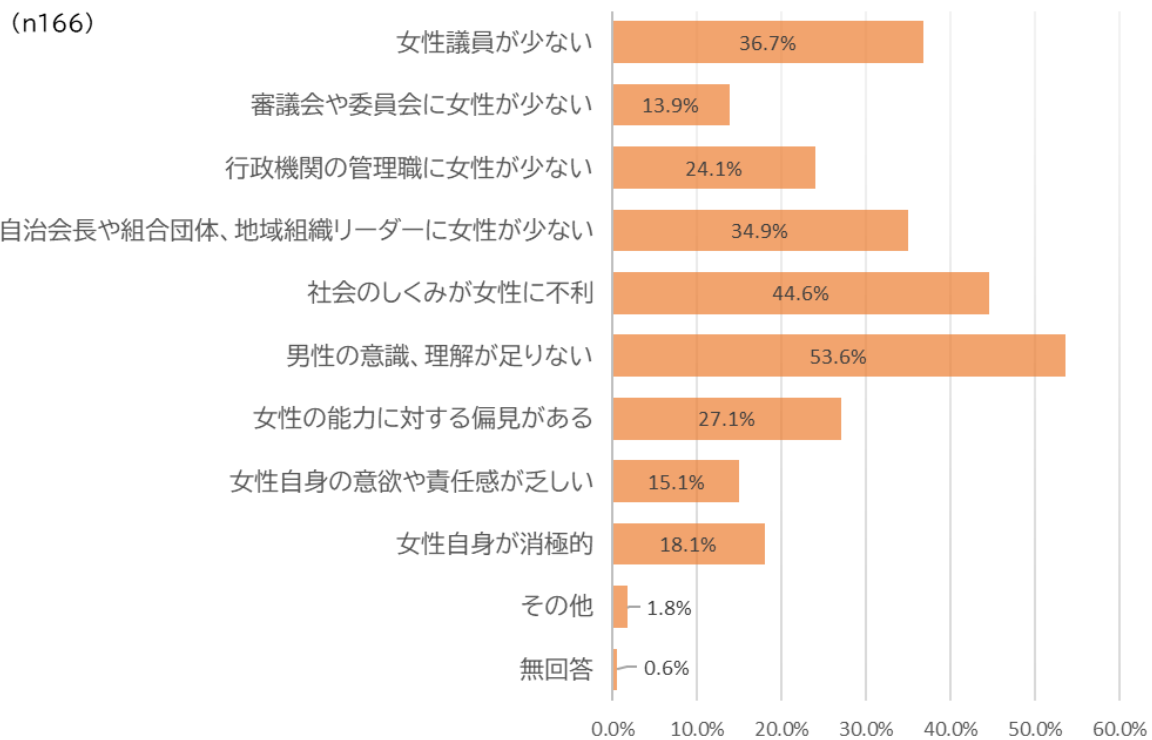
問12 地方自治体などの施策への女性の意見や考え方の反映度について

(n511)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
十分反映されている	4	0.8%	2	0.7%	2	1.0%
ある程度反映されている	132	25.8%	65	21.7%	65	32.3%
あまり反映されていない	129	25.2%	76	25.3%	49	24.4%
ほとんど反映されていない	37	7.2%	20	6.7%	16	8.0%
どちらともいえない	180	35.2%	121	40.3%	58	28.9%
無回答	29	5.7%	16	5.3%	11	5.5%
合計	511	100.0%	300	100.0%	201	100.0%

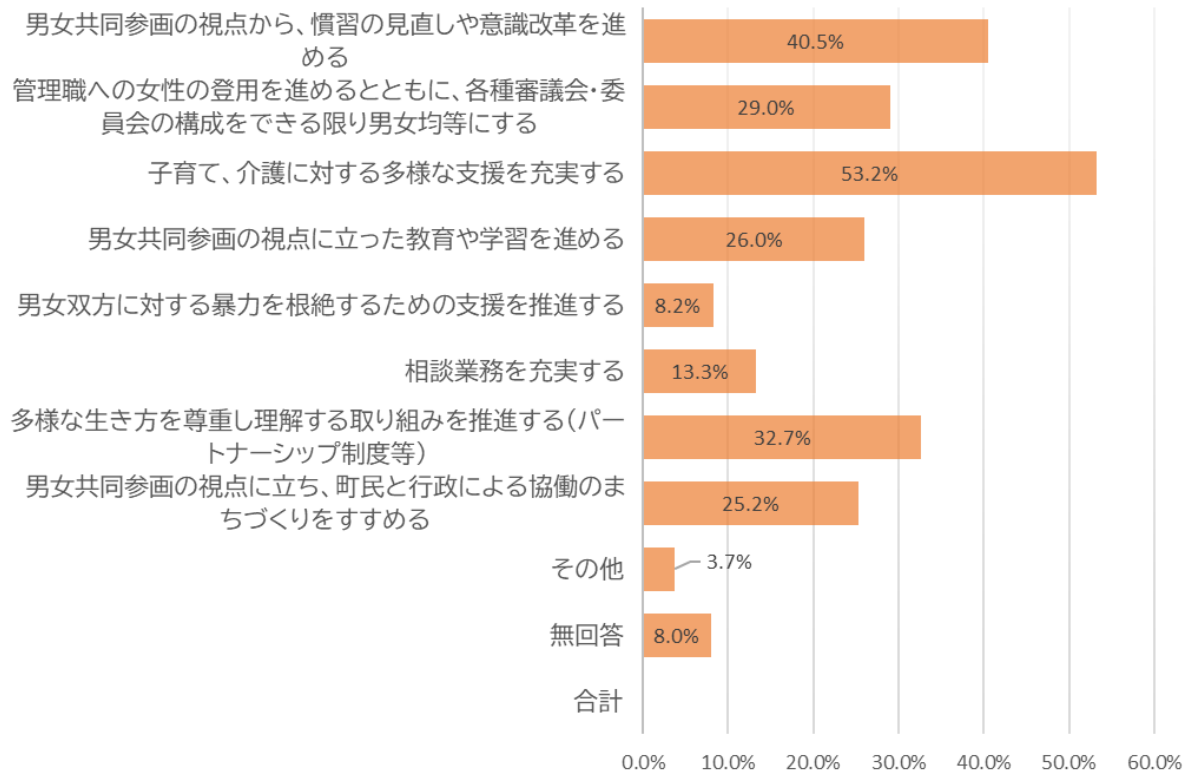
問12-1 女性の意見や考え方が反映されない理由について
(問12で「あまり反映されていない」、「ほとんど反映されていない」と
答えた方)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
女性議員が少ない	61	36.7%	36	37.5%	21	32.3%
審議会や委員会に女性が少ない	23	13.9%	11	11.5%	12	18.5%
行政機関の管理職に女性が少ない	40	24.1%	19	19.8%	20	30.8%
自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない	58	34.9%	29	30.2%	28	43.1%
社会のしくみが女性に不利	74	44.6%	43	44.8%	28	43.1%
男性の意識、理解が足りない	89	53.6%	57	59.4%	30	46.2%
女性の能力に対する偏見がある	45	27.1%	30	31.3%	13	20.0%
女性自身の意欲や責任感が乏しい	25	15.1%	16	16.7%	9	13.8%
女性自身が消極的	30	18.1%	23	24.0%	7	10.8%
その他	3	1.8%	3	3.1%	0	0.0%
無回答	1	0.6%	1	1.0%	0	0.0%

問13 今後、町が男女共同参画社会の実現を目指すために取組むべきこと

(n511)

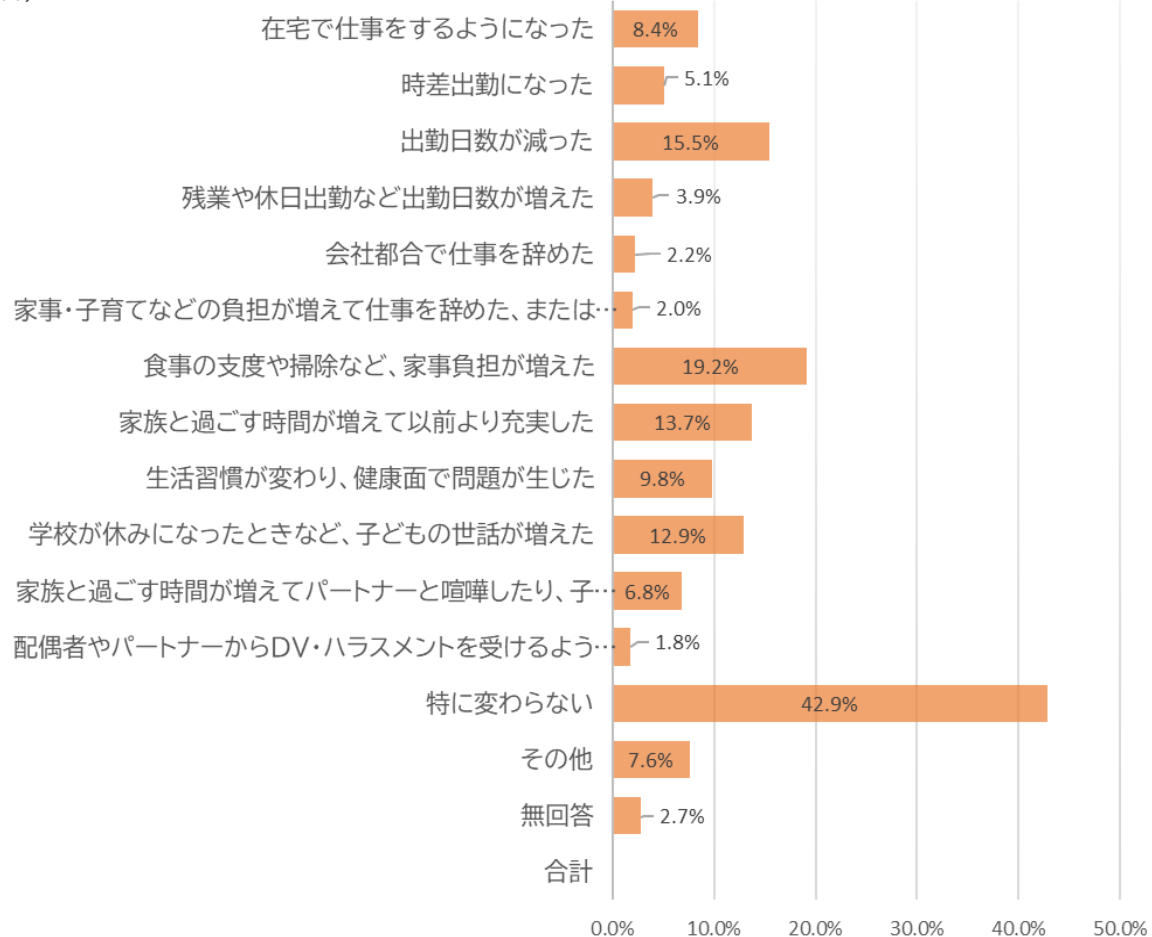


	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男女共同参画の視点から、慣習の見直しや意識改革を進める	207	40.5%	114	38.0%	90	44.8%
管理職への女性の登用を進めるとともに、各種審議会・委員会の構成をできる限り男女均等にする	148	29.0%	87	29.0%	57	28.4%
子育て、介護に対する多様な支援を充実する	272	53.2%	172	57.3%	96	47.8%
男女共同参画の視点に立った教育や学習を進める	133	26.0%	72	24.0%	59	29.4%
男女双方に対する暴力を根絶するための支援を推進する	42	8.2%	22	7.3%	19	9.5%
相談業務を充実する	68	13.3%	44	14.7%	23	11.4%
多様な生き方を尊重し理解する取り組みを推進する(パートナーシップ制度等)	167	32.7%	101	33.7%	62	30.8%
男女共同参画の視点に立ち、町民と行政による協働のまちづくりをすすめる	129	25.2%	78	26.0%	51	25.4%
その他	19	3.7%	7	2.3%	12	6.0%
無回答	41	8.0%	23	7.7%	15	7.5%

7. 新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす影響について

問14 新型コロナウイルス感染拡大による仕事や家庭生活の変化

(n511)



	全体		女性		男性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
在宅で仕事をするようになった	43	8.4%	17	5.7%	26	12.9%
時差出勤になった	26	5.1%	10	3.3%	16	8.0%
出勤日数が減った	79	15.5%	47	15.7%	30	14.9%
残業や休日出勤など出勤日数が増えた	20	3.9%	12	4.0%	8	4.0%
会社都合で仕事を辞めた	11	2.2%	7	2.3%	4	2.0%
家事・子育てなどの負担が増えて仕事を辞めた、または減らした	10	2.0%	9	3.0%	1	0.5%
食事の支度や掃除など、家事負担が増えた	98	19.2%	76	25.3%	20	10.0%
家族と過ごす時間が増えて以前より充実した	70	13.7%	44	14.7%	25	12.4%
生活習慣が変わり、健康面で問題が生じた	50	9.8%	35	11.7%	15	7.5%
学校が休みになったときなど、子どもの世話が増えた	66	12.9%	54	18.0%	12	6.0%
家族と過ごす時間が増えてパートナーと喧嘩したり、子どもを叱ることが増えた	35	6.8%	23	7.7%	12	6.0%
配偶者やパートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった(悪化した)	9	1.8%	5	1.7%	4	2.0%
特に変わらない	219	42.9%	117	39.0%	99	49.3%
その他	39	7.6%	23	7.7%	14	7.0%
無回答	14	2.7%	7	2.3%	5	2.5%

第4章 自由意見

1. 町の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についての意見・要望

	自由意見	年齢・性別・職業
1	少子化の中、教育面・校外活動の支援に対する取り組みを相談できる場所を学校(小中学校)の中に設けていただけたらと思います。	(20～29歳、男性、自営業)
2	知識のない人からのアンケートなので極めて質問の質が低い。男女共同参画が進まない理由は、理解力のない嵐山町の町長と議員が形式と体裁を整えようとしているため中身の無いものとなっている。本気で取り組む姿勢になっていないので進むはずがない。もっとやる気を出してほしい。もしくは町民を巻き込まないでほしい。	(40～49歳、男性、会社員・公務員(常勤))
3	1、出産しやすい環境づくり①国内屈指の産婦人科小児科病院を誘致(高度な医療技術で安心)②里帰り出産がしやすい環境づくり・産婦人科病院に隣接した里帰り出産女性向け集合住宅を設置。2、産後の就労支援の実施①時短就労が可能な優良企業を誘致(大小に限らない)②事業所内保育園施設を設置する上での支援③チャイルドシートの無料貸与。女性に優しい施策で日本一の自治体を目指すことにより、人口減少に歯止めをかける。町に移住し、町で出産し、町で就労。	(60～64歳、男性、会社員・公務員(常勤))
4	家庭によって何が社会参加で誰が行うのかなど価値観が違うと思います。嵐山町としての男女共同参画を各家庭に浸透させるのではなく、各家庭の男女共同参画の価値観を尊重し、支援するという手法をとっていただきたいです。Sex/gender の意味を正しく理解してほしいです。LGBTQ=性的少数者であり、社会的弱者ではないことも正しく理解してほしいです。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(常勤))
5	仕事で電話対応していると「誰か男の人にかわって」と言われることがあります。男性スタッフがいないと「じゃあしょうがないからあなたでいいや」と言い、私が質問に答えても「本当に？」と信じず後日男性スタッフ宛に再度電話をかけてきます。これは私が女性だからなののでしょうか。私が男性スタッフよりも完璧に説明したとしてもお客様は男性を信じるのでしょうか。大半の方は上記なことは言いません。ですが少なからず女性の能力を認めず下に見ている人は実在しています。だからと言って女性が権利を主張しすぎるのもいかなものかと思います。(ファミリーマートのお母さん食堂とか別にいいとか思います)男女平等に、女も主張しすぎない事から始め	(20～29歳、女性、会社員・公務員(常勤))

	た方がいいと思います。	
6	私の育った時代では長男が家を継ぎ、女性が家庭内のことをするというのが当たり前のことでしたが、女性が仕事をするようになると男性も家事・育児をすることが私の子供たちのところでは普通です。まず、家庭でそして社会で女性が活躍するために女性の負担を減らしていけたら良いと思います。	(65～69歳、女性、自営業)
7	町の役で民生委員の時、会長は女性でバリバリ活躍して素晴らしい人でした。議会モニターで議会を傍聴させていただき、女性議員も活発に発言し、まわりの方も納得して素直に話を聞いていた。退職して8年経ちます。アンケートに該当しない箇所もありましたが、働いていた頃を記入しました。	(65～69歳、女性、無職)
8	男女共同参画の推進に関する各施策についてPDCAを確実に判断し実施していただきたい。	(65～69歳、男性、無職)
9	どんなアンケートでも自分たちの理想のためだけに使われるだろうなと思ってます。女性管理職など「同数にしよう」という動きの中で本当に管理職になりたい女性が男性と同数いるのか。と「性差別をなくそう」と言いながら性にとらわれた考え方をするのはどうなんだという感じです。	(30～39歳、女性、その他)
10	名ばかりの推進事業にとどまらず、偏見のない町政を望みます。出る杭はたたくのではなく、男女ともに嵐山町に住んでいて幸せであるという実感のある施策を望みます。	(70～74歳、女性、自営業)
11	若い世代と高齢世代では理解や解釈の違いがあるように思います。小中学生や若い世代には学校での教育が大切ですし、実際に教育を受けているので正しい理解が進んでいると思います。さらに実行できるようになればと思います。高齢の方は、少しずつ理解が進んでいるかと思いますが、今までの生活や習慣があり、内容も難しいので、具体例を示してできることから始めてみるように提案したらどうかと思います。町の広報等で継続して伝えていかなければならないと思います。とくにDVに関しては、安心して相談できるように至急対応することが大切かと思います。	(50～59歳、男性、自営業)
12	◎男女共同参画は抽象的な言葉で何を目指しているのか判りにくい。現実が非常に遅れていると感じる言葉。◎男女共同参画⇒Gender equality(equal)のような馴染みやすいことばで展開してください。◎多くの年配者は、男らしい振る舞いスタイル、女性らしい対応など区別を持って行くと、平等に相応しい許容できるものに役場から変えて手本を見せて欲しい。	(75歳以上、男性、自営業)

13	言葉だけでなく具体案を示し、行動に移して欲しいと思います。出来ることから政策、施策へ落とし込んで頂き、町民から見て変化がわかるようにお願いします。	(50～59歳、男性、会社員・公務員(常勤))
14	社会全般、国会議員が考えを変えない限り難しいのではないかと。	(60～64歳、男性、会社員・公務員(常勤))
15	考えてばかりでも変わらないのでとりあえず女性をどこにでも登用して形から入ったらいいと思います。ダメな時は男女関係なくダメなのでその時はまた変えたらいいと良いと思います。とにかくやってみなくてはわからないと思います。	(50～59歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
16	私のようにほぼ子育てが終わった世代ではなく真っ最中の若い世代に多くの意見を募り住みよい町にするべきかと思います。それより今は全町民のコロナワクチン接種2回に全ての役場職員が全力を注ぐべきです。後日、アンケート回収率お知らせください。アンケートどころではない家庭も多いのではないかと推測されます。	(50～59歳、男性、会社員・公務員(常勤))
17	男尊女卑の国、日本。男は外で働き、女は家庭を守る。しかし、今は男女とも社会で働く時代である。しかし体力的にも優れている男性は外で労働し、女性は家事、育児が得意という性の違いは大古の昔から分担されてきたと思う。骨格や筋力も違うのだから、重労働や狩りは男性。着るものを編む、染色、食事を作る、子育てなどは女性が自然にやってきたのではないだろうか？今日は夫婦で話し合って協力する時代であり、妻は外、夫は内という家庭があっても良い。互いに尊重しあう関係を築くにはまずは小学校からの教育だと思う。男女一緒の名簿は形から入るための一つにしか過ぎない。授業では男子、女子の性の違い、協力することの大切さ、選択の自由性は違うけれど人間としては同じ、どちらも大事ということを積み重ねていくことかと思う。	(60～64歳、女性、専業主婦・専業主夫)
18	アンケート内容について、統計的分析のみ使用ではなく行政に生かして頂きたいと思います。	(65～69歳、女性、専業主婦・専業主夫)
19	まだまだ女性に対する偏見は大きいと思う。仕事面でもそうだが、お年寄りとはとくに女性は家庭といった古いイメージが強いのだと思う。もっと平等に…女性が仕事をしやすいように、給料も男性と同じようになったらいいのに…。男性も女性も平等にいきいきと暮らせるように…頑張ってください。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(常勤))

20	今現在の生活や職場、家庭の自分の役割には納得している。女性には女性でしかできない役割、責任もあり、男性には男性でしかできない役割、責任があると考えているので、男女平等何もかも同じに平たく平等というのは難しいと感じている。男女間の格差の問題というよりは、個人としての個人個人としての不平等さを感じる。個性の尊重が弱く、自分の個性を仕事でも社会参加にして認められていないようながっかり感を感じている。何かのかたにはめようとするのは日本人の特性なのかもしれないが、個人の能力等を活かせる社会生活が送れることがとても良いのではないかと感じる。	(40～49歳、女性、会社員・公務員(常勤))
21	変わることは難しいですが、頑張っって欲しいなと思います。	(40～49歳、女性、その他)
22	7月下旬に出産しました。もう少し子育てに手厚い町になってほしい。給付金やお祝金など少なくとも良いからないよりはマシかと。	(20～29歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
23	女性が当事者意識を持って参加できる環境を望みます。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(常勤))
24	質問を進めてくうちに、「女性は大変だ、平等ではない」という回答にもって行かせるような感覚を持ちました。とくに家庭内の質問の所は「？」という問いが多く、また政治とからむ意味が分かりません。「平等」をかかげたいのなら、女性もキーキー言うのではなく、努力をしなければいけないし、弱音も吐けなくなります。出来る女性はずごいと思いますし、見ていて分かります。完全な「平等」を作ってしまうと男性の良いところ、女性の良いところが勝ち負け、不平等だとか違うところで問題が出てきて大事な話し合いが出来ない、時間がとられてしまうと思います。それでは、本末転倒になってしまいます。嵐山町にはぜひ良い距離感を持って男女の良いところをたくさん出し切って「嵐山町」のために良い案を出して頑張っってほしいです。	(40～49歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
25	嵐山町はまだまだ古い習慣が残り、年配の女性とはとくに女は表に出るべきものでないという考え方が多い。今は時代も変化し、若い方たちがさまざまな職につき、以前の男性中心の会社とは変化していると思う。すぐには変わらないが、徐々に女性も前に出て職場や地域の行事等にも参加し、これからどんどん変化があると思う。賃金や行政に関わる方は差が少しずつなっているが、やはり力仕事や地域の主導的立場ではやはり男性に一步先へ譲らないとならない状況もある。少しずつでも良い	(60～64歳、男性、自営業)

	から行政サイドで共同参画の呼びかけを続けることだと思う。	
26	第 3 次嵐山町男女共同参画プランの結果が本年度完了した結果等が分かれば、広報紙等にて PR いただければ良いのではないかな。	(60～64歳、男性、会社員・公務員(常勤))
27	まったく知らなかったのもう少し、プロモーションに力を入れたほうが良いかと。	(30～39歳、男性、会社員・公務員(常勤))
28	地域的な部分もあると思うが、まだまだ封建的な考え方の割合が多いと思う。しかし、平等、平等といっても男性でないと、女性でないと、という面も必ずあるので、やはり家庭では家族の理解が大切で、社会では男性が女性に対する考え方をもっと学ぶ必要があると思う。若い方々、女性には頑張ってもらいたいです。	(65～69歳、女性、専業主婦・専業主夫)
29	嵐山町も高齢化が進んでいるが、高齢化の問題と男女共同参画化の問題をどう組み合わせるか？が課題。	(70～74歳、男性、自営業)
30	年配の方はとくに偏見がすごい。もっと若い方が主体的に動けるようにしてほしい。このご時世、共働きも当たり前。嵐山町で生まれ育っていますが、他市町村と比べてしまうとだいぶ劣っていると思う。今度、子育て世代を集めて意見できる場を設けてみませんか。町民の意見をダイレクトに聞いてほしいです。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
31	興味がない。どうでもいい。	(30～39歳、男性、無職)
32	共同参画とは、男女、同じ仕事をするのではないと思う。男でなければならないもの、女でなければならないものがあり、それぞれがその仕事をすれば良いのではないかな。家庭の事情は全く別々のものであり、それぞれが対応すべきで回りから言われるものではない。また、言われても直しようがないのではないかな。	(75歳以上、男性、自営業)
33	保育園等が少ない又は、独占的になっているため、働きたくても働けず、女性は家にいるものと考えを押し付けられることが多くつらい思いをいっぱいしました。1日立場逆転とか楽しんでやれそうなことをしてほしいです。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
34	町の「議会だより」を読んでいます。令和 3 年第2回定例会の発議第6号「女子差別撤廃条約」について批准を求めていましたが否決されました。男女平等の意識が低く、非常に残念です。町議員の意識が変わらない限り、このようなアンケートを実施しても、変化は起こせないと感じています。	(40～49歳、男性、会社員・公務員(常勤))

35	とても大事なことだと思いますが、自分は今年65才になりお役に立てるような事ができないと思います。このアンケートがききましたけど今度からは私のような年齢ははずしてもらいたいと思いました。すみません。	(60～64歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
36	少しずつ男女問わず能力に応じた立場に立てる様になっていると思う。その反面、都合の良い時だけ「男女平等」をうたい、都合が悪くなると「女性だからしょうがない」というスタンスに立つ人を多く見る(SNS上ではほとんどだが)。こういう人を女性側が正していく風潮がないと、男女平等は成り立たないだろうなとは常に思う。	(30～39歳、男性、会社員・公務員(常勤))
37	男女平等…といわれていますが、男の特性、女の特性があるので一概に平等を強要するのはいかなものかと思います。お互いの思いやりが大切なのではないでしょうか。	(65～69歳、女性、専業主婦・専業主夫)
38	慣例的、風習的なことがあるので思い切ったことをしないと何も変わらない気がします。	(40～49歳、男性、会社員・公務員(常勤))
39	この様なアンケートで統計を取ってもなんの意味もないのではないのでしょうか？調査ではなくて対策、推進に早く取り組んで欲しいと思います。	(65～69歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
40	日本人としての根本的考え方というのが性差別の要因の一つを占めているため、短期間での改善というのは大変困難なことではあると思いますが、こういったアンケートの実施等で一步步改善へと近づくのではないかと思います。学校でのこういったアンケートの実施というのは未来を創っていく子供たちにとって必ずいい影響をもたらすはずなので是非実施していただきたいです。	(18・19歳、男性、学生(予備校含む))
41	無作為というわりには私は3回目のアンケート返答をしています。この次は無作為よりももっと計画性をもって人選してください。	(50～59歳、女性、無職)
42	地道な啓蒙活動。外部委員などの委員数の思い切った変改。	(50～59歳、男性、自営業)
43	女性の給与の見直し。	(20～29歳、女性、会社員・公務員(常勤))
44	なぜ選択肢を与えられるのかという問いや、捉えようによっては全く意味が分からない問いがあり、かなり苦痛であった。男女に限らず地位が平等なんてありえない	(50～59歳、女性、会社員・公務員)

	のに…またどんな活動を行っているかもわからない。	員(常勤))
45	現状を悪化させないように細心の注意を払って頑張ってください。	(20～29歳、男性、学生(予備校含む))
46	嵐山町がどのような施策をしているのかを知らないの、もう少しわかりやすく示して伝えていくほうがこれから成人を迎えるこどもたちにとってもわかりやすくより身近なのではないかと思います。ユニバーサルデザインのような観点で、誰にでも「わかりやすい」ようにするのが良いと思います。	(20～29歳、女性、会社員・公務員(常勤))
47	不勉強で申し訳ないです。残念ながらどんな取り組みをされているのか分かりませんので、意見も言えません。気になることは、保育、介護、看護職などの賃金があまり高くないのではないかと。生命を育てる、生命を見守るというような全ての人が一度はお世話になるような大切な仕事だと思うが軽んじられているような気がする。それは女性の仕事と思われ、女性の従事者が多かったからではないのか。新型コロナの問題、高齢化率が高くなる将来、重労働低賃金の介護、看護現場から人がいなくなってしまうたらどうするのか不安しかありません。	(60～64歳、女性、自営業)
48	プランについて勉強不足で何も知らなかったの、アンケートを回答するにあたり、簡単にでもどういうものか、回答がどのように反映されるのか教えていただけると良かったと思います。	(40～49歳、女性、会社員・公務員(常勤))
49	男性と女性との生来の違いなどがあるのでお互いに特質をよく見極めて、女性は現在の事柄に目を向けるのに対し、男性は将来を見極めるのに優れていたり、また、男性が気付かないところを補う事が女性ではできる点などで、両方の意見、多様性は共同参画を成功させ維持していくのにとっても大切な分野だと思います。良い人材、良い特質は町全体にとっても、町民にとっても有益です。そんな点を考えていただけたら嬉しいです。また、人に仕えてもらう人より、仕える人になっていただきたい	(65～69歳、女性、その他)
50	アンケートの回答3つまでというのが3つ以上あることが多く困りました。回答しながらDVを受けていることを相談できる場がないことを改めて気づいています。町の相談もあるのは知っていますが、個人のプライバシー(完全にわからないように)は守られて行われるのか、専門の方に聞いてもらえるのかと思っている間に時は流れています。男女の役割、女性に負担なことが本当に多いと思います。	(50～59歳、女性、会社員・公務員(非常勤))

51	嵐山町がより住みやすくなるよう願っています。	(70～74歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
52	扶養内で働く上での配偶者特別控除の条件を130万円から150万円へ引き上げて欲しい。子育て中もフルタイムで働きたいが、保育園の保育時間や子育て、家事との両立、子供が小さい時期は特に子供の都合で仕事を休まなければいけないことなどがあり、パートタイムでの働き方の女性が多いと思うので(自分も含め)150万以上での働き方に変われれば、収入面でも社会的にも充実が得られると思います。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
53	自分の職場を見ても女性の方が職員は圧倒的に多いにもかかわらず、役職者の人数は男女半々です。しかし、声が掛かって役職を辞退する女性が多いのも事実であり、全体的に役職に就きたいと思う女性が少ないようにも感じます。そのため無理に女性の参画人数を増やして体裁を取り繕おうとしても、それは有益なものになるとは限らないのではないのでしょうか。その背景になる子育てなどの家庭内の役割意識や根本的な社会での役割意識を変えない限り、この数の問題は真に解決し得ないと思います。そのため、子育て、介護への支援体制や、学校教育を通じての意識改革が重要であると考えました。ただしそれらが整備されても必ずしも女性男性が従来の在り方を否定するとは限らず、その結果出た”数”というのは実際にも偏りがあるかもしれませんが、大切なのは望めば男女共に様々な事象へ参画できる環境そのものだと思います。どうぞ形ばかりにこだわらず、実質的な政策を行ってください。	(30～39歳、男性、会社員・公務員(常勤))
54	若年層の興味、関心、惹かれる魅力がない。目に留まる具体的な分かりやすい内容であってほしい。	(20～29歳、女性、会社員・公務員(非常勤))
55	自身の生活の中では、男女共同参画を意識するような部分はないので(職場、家庭内でも格差を感じたことはほとんどなし)要望はありません。周りの人も働くことと子育てを両立したい人は既にしていて、働かずに家で子育てや家事をして過ごしたいという風に自分の意志で生活をしている風に思う。保育園や学校、習い事の場面でもお父さんも多いので男女共同参画は進んでいると思う。	(30～39歳、女性、会社員・公務員(常勤))
56	審議員や議員など、30%の女性が入ると良いと思います。区長も男性が多く、女性の方でやっていただけたらとも思います。	(50～59歳、女性、自営業)

57	問 7 等、配偶者、パートナーがいることが当たり前であるかのような設問に違和感を覚えました。町として人口を増やすため、夫婦などが多い方が良いのはわかりますが、男女共同参画の視点からも結婚せずに働く自由もあるのではないのでしょうか？（結婚して働き続けることができることが大前提ですが…）	（20～29歳、男性、会社員・公務員（常勤））
58	伝統、慣習の切り替えには多くの時間を要することから、長い目で見た取り組みが必要であると思います。	（30～39歳、男性、会社員・公務員（常勤））
59	この様なアンケートがなくなることを願っています。個人だけでは解決できる問題ではないので。小学生や小さな頃からの教育も必要であると考えます。大人になれば考え方を変えていくことも難しくなると思うので。男女共同参画の推進等が本当にできればアンケートも必要なくなりますね。少なからず期待しています。	（30～39歳、男性、自営業）
60	女性が働きやすい社会に現実を願います	（60～64歳、女性、専業主婦・専業主夫）

資 料【調査票】

「“らんざん”^{ひとりひとり}男 女が共にいきいきと暮らせるまちづくり条例」 についてお伺いします

問1 町では「“らんざん”^{ひとりひとり}男 女が共にいきいきと暮らせるまちづくり条例」に基づき、男女共同参画の推進に取り組んでいます。あなたは、この条例を知っていますか。

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 内容を知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

男女平等に関する意識についてお伺いします

問2 あなたは、現在、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
次の(1)～(7)のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。
(それぞれについて該当する「1～5」の1つだけに○)

	平等になっている	平等になっている どちらかというと	平等になっていない どちらかというと	平等になっていない	どちらともいえない
(1)家庭生活で	1	2	3	4	5
(2)学校教育の場で	1	2	3	4	5
(3)職場で	1	2	3	4	5
(4)政治の場で	1	2	3	4	5
(5)自治会活動等の地域社会の場で	1	2	3	4	5
(6)社会通念や風潮 (慣習・しきたり)などで	1	2	3	4	5
(7)法律や制度の上で	1	2	3	4	5

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対して、あなたはどうか
考えますか(1つだけに○)

1 賛成	}	問3-1へ
2 どちらかといえば賛成		
3 どちらかといえば反対	}	問3-2へ
4 反対		
5 わからない → 問4へ		

【問3で「1賛成」または「2どちらかといえば賛成」を選択した方に伺います。】

問3-1 理由をご回答ください。(1つだけに○)

1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2 自分の両親も役割分担をしていたから
3 性別で役割分担をした方が効率が良いと思うから
4 子どもの成長などにとって良いと思うから
5 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
6 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
7 個人的にそうありたいと思うから
8 理由を考えたことはない
9 その他()

【問3で「3どちらかといえば反対」または「反対」を選択した方に伺います。】

問3-2 理由をご回答ください。(1つだけに○)

1 男女平等に反すると思うから
2 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとっても損失だと思うから
3 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから
4 男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
5 話し合いで自由な選択ができる方が良いと思うから
6 男性も家事・育児・介護をする必要があると思うから
7 一方的な考えを押しつけるのは良くないと思うから
8 理由を考えたことはない
9 その他()

問4 あなたは次の(1)～(3)のメディアでの性の表現についてどのように考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

	(1) テレビ・映画	(2) 新聞・雑誌	(3) インターネット
性別による固定的な役割分担を助長する表現が目立つ	1	1	1
女性(男性)の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	2	2	2
社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	3	3	3
女性(男性)に対する犯罪を助長するおそれがある	4	4	4
そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	5	5	5
特に問題はない	6	6	6
その他()	7	7	7

家庭生活・子育てについてお伺いします

問5 あなたの家庭では、次の(1)～(11)について、主に男性、女性のどちらが行っていますか。

(それぞれについて該当する「1～5」の1つだけに○)

	主に男性が行っている	共同して 分担している	主に女性が行っている	その他	該当しない
(1)家事(炊事・洗濯・掃除など)	1	2	3	4	5
(2)子育て (子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	5
(3)介護(介護の必要な親の世話、病人の介護など)	1	2	3	4	5
(4)地域の行事への参加	1	2	3	4	5

	主に男性が 行っている	共同して 分担している	主に女性が 行っている	その他	該当しない
(5) 自治会活動	1	2	3	4	5
(6) PTA活動	1	2	3	4	5
(7) 親せき付き合い	1	2	3	4	5
(8) 生活費の確保	1	2	3	4	5
(9) 家計の管理	1	2	3	4	5
(10) 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5
(11) 名もなき家事(※)	1	2	3	4	5

※「名もなき家事」とは、玄関の靴片付け・ゴミの仕分け・食材や日用品の在庫把握など細かくて見えにくい
が、必要な家事のことです。

問6 生活の中で「仕事」、「家庭生活」(家事・子育て・介護など)、「個人の生活」(趣味・学
習・付き合いなど)の考え方について、あなたは「理想」では何を優先したいですか。
また、「現実」では何を優先していますか。 (それぞれ1つずつに○)

【理想】

1 「仕事」を優先したい
2 「家庭生活」を優先したい
3 「個人の生活」を優先したい
4 「仕事」と「家庭生活」を優先したい
5 「仕事」と「個人の生活」を優先したい
6 「家庭生活」と「個人の生活」を優先したい
7 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先したい
8 わからない

【現実】

1 「仕事」を優先している
2 「家庭生活」を優先している
3 「個人の生活」を優先している
4 「仕事」と「家庭生活」を優先している
5 「仕事」と「個人の生活」を優先している
6 「家庭生活」と「個人の生活」を優先している
7 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先している
8 わからない

就業・仕事についてお伺いします

問7 あなたは、女性の働き方について、どのように考えていますか。

次の「理想」(希望)と「現実」の中から選んでください。男性の場合は、配偶者・パートナーについてお答えください。

(それぞれ1つずつに○)

【理想】

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ
- 5 子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたらか家事や子育てに専念する
- 6 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する
- 7 仕事をもちたくない
- 8 わからない
- 9 その他()

【現実】

- 1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- 2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 4 結婚後又は子育て終了時から仕事をもつ
- 5 子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたらか家事や子育てに専念する
- 6 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する
- 7 仕事をもちたくない
- 8 わからない
- 9 その他()

問8 あなたは、働くことを希望する女性が結婚後・出産後も退職せずに働き続けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の(1)～(8)のそれぞれについてあなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれについて該当する「1～4」の1つだけに○)

	とても重要	重要	重要でない あまり	重要でない まったく
(1)パートナー(男性)の理解や家事・育児などへの参加	1	2	3	4
(2)パートナー(男性)以外の家族の理解や家事・育児などへの参加	1	2	3	4
(3)保育施設や学童保育の充実	1	2	3	4
(4)福祉施設やホームヘルパーの充実	1	2	3	4
(5)労働時間の短縮、フレックスタイム制度の導入	1	2	3	4
(6)企業経営者や職場の理解	1	2	3	4
(7)育児・介護休業などの休暇制度の充実	1	2	3	4
(8)昇進・昇給などの職場での男女平等の確保	1	2	3	4

問9 あなたは、男女共に仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに○)

1 給与等の男女間格差をなくすこと 2 年間労働時間を短縮すること 3 代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境を作ること 4 育児や介護のために退職した者を元の会社で再雇用する制度を導入すること 5 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること 6 地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること 7 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること 8 女性が働くことにに対し、家族や周囲の理解と協力があること 9 男性が家事や育児を行うことにに対し、職場や周囲の理解と協力があること 10 税制度、配偶者特別控除などの制度を見直すこと 11 わからない 12 その他()

配偶者等に対する暴力についてお伺いします

問10 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)について知っていますか。

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 内容を知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことはあるが内容は知らない | |

問11 あなたはこれまでに、あなたの配偶者・パートナーから次の(1)～(5)のような行為をされたこと【被害経験】、またはしたこと【加害経験】がありますか。

(それぞれについて該当する「1～3」の1つだけに○)

【被害経験】

	何度もある (あった)	一、二度ある (あった)	全くない
(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為を受けた	1	2	3
(2) 人格を否定されるような暴言、交友関係・電話等の監視、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせを受けた	1	2	3
(3) あなた、もしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
(4) いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなどの性的強要を受けた	1	2	3
(5) 生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなどの経済的な圧迫を受けた	1	2	3

【加害経験】

	何 度 も あ る (あ っ た)	一 、 二 度 あ る (あ っ た)	全 く な い
(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為をした	1	2	3
(2) 人格を否定されるような暴言、交友関係・電話等の監視、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせをした	1	2	3
(3) 相手、もしくは相手の家族に危害を加えるのではないかと恐怖を感じさせるような脅迫をした	1	2	3
(4) いやがっているのに、性的な行為を強要した、見たくないのにポルノ映像等を見せる、避妊に協力しないなどの性的強要をした	1	2	3
(5) 生活費を渡さない、貯金を勝手に使う、外で働くことを妨害するなどの経済的な圧迫をした	1	2	3

【問11の【被害経験】で、「何度もある」と答えた方におたずねします。】

問11-1 これまでに誰かに打ち明けたり、相談したりしたことがありますか。

(1つだけに○)

1 相談した → 問11-2 へ 2 相談できなかった 3 相談しようとは思わなかった	}	問11-3へ
---	---	--------

【問11-1で、「相談した」と答えた方におたずねします。】

問11-2 あなたが、相談した人(場所)を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親せき	7 男女共同参画センター・女性センター
2 友人・知人	8 その他の公的機関
3 警察	9 弁護士
4 人権擁護委員	10 医師・カウンセラー
5 役所の相談窓口・電話相談など	11 民間の相談機関
6 配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター・女性相談員	12 その他()

【問11－1で、「相談できなかった」、「相談しようとは思わなかった」と答えた方におたずねします。】

問11－3 相談できなかった(しようと思わなかった)理由はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 誰(どこ)に相談して良いか分からなかったから |
| 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 相談したことがわかると仕返しをされたりもっとひどい暴力を受けると思ったから |
| 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから |
| 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから |
| 7 世間体が悪いから |
| 8 他人を巻き込みたくないから |
| 9 思い出したくないから |
| 10 自分に悪いところがあると思ったから |
| 11 相談するほどのことではないと思ったから |
| 12 その他() |

男女共同参画を推進するための取組についてお伺いします

問12 あなたは、県や町(地方自治体)などの施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。

(1つだけに○)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 十分反映されている | } 問13へ |
| 2 ある程度反映されている | |
| 3 あまり反映されていない | } 問12－1へ |
| 4 ほとんど反映されていない | |
| 5 どちらともいえない → 問13へ | |

【問12で、「3あまり反映されていない」または「4ほとんど反映されていない」と答えた方におたずねします。】

問12-1 女性の意見や考え方が反映されていない理由は何だと思いませんか。

(3つまでに○)

- 1 女性議員が少ない
- 2 審議会や委員会に女性が少ない
- 3 行政機関の管理職に女性が少ない
- 4 自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない
- 5 社会のしくみが女性に不利
- 6 男性の意識、理解が足りない
- 7 女性の能力に対する偏見がある
- 8 女性自身の意欲や責任感が乏しい
- 9 女性自身が消極的
- 10 その他()

問13 今後、男女共同参画社会の実現を目指すためには、町ではどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(3つまでに○)

- 1 男女共同参画の視点から、慣習の見直しや意識改革を進める
- 2 管理職への女性の登用を進めるとともに、各種審議会・委員会の構成をできる限り男女均等にする
- 3 子育て、介護に対する多様な支援を充実する
- 4 男女共同参画の視点に立った教育や学習を進める
- 5 男女双方に対する暴力を根絶するための支援を推進する
- 6 相談業務を充実する
- 7 多様な生き方を尊重し理解する取り組みを推進する(パートナーシップ制度等)
- 8 男女共同参画の視点に立ち、町民と行政による協働のまちづくりをすすめる
- 9 その他()

新型コロナウイルス感染拡大が及ぼす影響についてお伺いします

問14 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたの仕事や家庭生活に変化がありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 在宅で仕事をするようになった
- 2 時差出勤になった
- 3 出勤日数が減った
- 4 残業や休日出勤など出勤日数が増えた
- 5 会社都合で仕事を辞めた
- 6 家事・子育てなどの負担が増えて仕事を辞めた、または減らした
- 7 食事の支度や掃除など、家事負担が増えた
- 8 家族と過ごす時間が増えて以前より充実した
- 9 生活習慣が変わり、健康面で問題が生じた
- 10 学校が休みになったときなど、子どもの世話が増えた
- 11 家族と過ごす時間が増えてパートナーと喧嘩したり、子どもを叱ることが増えた
- 12 配偶者やパートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった(悪化した)
- 13 特に変わらない
- 14 その他()

あなたご自身についてお伺いします

F1 あなたの性別をご回答ください。(あなたが思うものに○)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. それ以外 |
|-------|-------|---------|

F2 あなたの年齢をご回答ください。(1つだけに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 65～69歳 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | 8. 70～74歳 |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～64歳 | 9. 75歳以上 |

F3 あなたの職業をご回答ください。(1つだけに○。複数ある方は主なものに1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 農業 | 5. 学生(予備校含む) |
| 2. 自営業 | 6. 専業主婦・専業主夫 |
| 3. 会社員・公務員(常勤) | 7. 無職 |
| 4. 会社員・公務員(非常勤) | 8. その他() |

F4 現在の婚姻状況をご回答ください。)*事実婚含む (1つだけに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 結婚している | 3. 結婚していない |
| 2. 結婚していたが、死別・離別した | |

F5 お子さんの有無をご回答ください。(成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてどちらかに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【F5 で、「1 いる」と答えた方におたずねします。】

F5-1 一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1. 3歳未満 | 5. 高校生 |
| 2. 3歳以上就学前 | 6. 大学生、大学院生(短大、専門学校を含む) |
| 3. 小学生 | 7. 社会人 |
| 4. 中学生 | 8. その他() |

最後に嵐山町の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見
やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。
